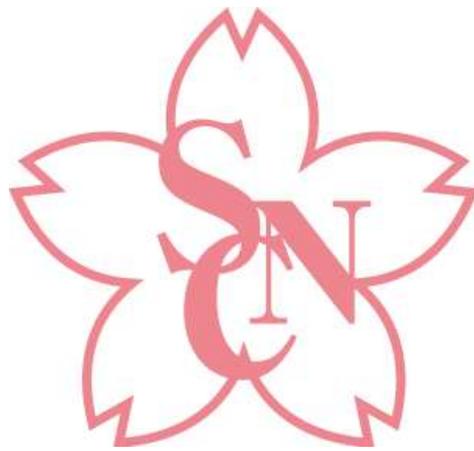


シラバス

2024 年度



学校法人 東洋育英会

さくら看護専門学校

目次

I. 基礎分野	
1. 看護情報学	1
2. 英語 I	2
3. さくらゼミナール I	3
4. さくらゼミナール II	4
5. 人間関係論	5
6. 心理学	6
7. 哲学	7
8. 文化人類学	8
9. 生活環境論	9
10. 法と人権	10
11. 教育学	11
II. 専門基礎分野	
1. 人体の構造と機能 I	12
2. 人体の構造と機能 II	13
3. 人体の構造と機能 III	14
4. 人体の構造と機能 IV	15
5. 生化学	16
6. 微生物学	17
7. 栄養学	18
8. 薬理学	19
9. 疾病治療論 I	20
10. 疾病治療論 II	21
11. 疾病治療論 III	22
12. 疾病治療論 IV	23
13. 社会福祉 I	24
III. 専門分野	
i. 基礎看護学	
1. 看護学概論	25
2. 看護の基本技術 I	27
3. 看護の基本技術 II	29
4. 看護の基本技術 III	31
5. 看護の基本技術 IV	33
6. 看護の基本技術 V	35
7. 看護の基本技術 VI	37
8. フィジカルアセスメント	38
9. 基礎看護学実習 I	39
10. 基礎看護学実習 II	40
ii. 地域・在宅看護論	
1. 地域・在宅看護概論	41
2. 地域・在宅看護支援論 I	42
iii. 成人看護学	
1. 成人看護学概論	44
iv. 老年看護学	
1. 老年看護学概論	45
2. 老年看護学実習 I	47
v. 小児看護学	
1. 小児看護学概論	48
vi. 母性看護学	
1. 母性看護学概論	49
vii. 精神看護学	
1. 精神看護学概論	50

授業科目	看護情報学		
担当者名	渋川 美紀	実務経験	○
年次	1年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	情報通信技術（ICT）を含む保健医療情報全般の特徴、活用時のポイント、医療現場における情報システム・情報倫理について理解を深め、医療・看護情報を有効に扱うリテラシーを習得するとともに、パソコンを用いて文書作成やデータ処理など情報伝達・発信方法の基礎を学ぶ。		
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報の定義と特徴を理解する。 2. 保健医療における情報の活用方法を理解する。 3. 情報と倫理の基礎的知識と考え方を身につける。 4. Excel・Word・PowerPoint・インターネットの基本操作を身につける。 5. Excelを用いた基本的な統計解析を理解する。 6. 一連の活動を報告書、もしくはプレゼンテーションの形で発表できる。 		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】情報の定義と特徴	第1章(P3～22)を読み、章末の復習と課題を考えておく	渋川 美紀
2	【講義】社会と情報	第2章(P23～36)を読み、章末の復習と課題を考えておく	渋川 美紀
3	【講義】保健医療と情報	第3章(P39～62)を読み、章末の復習と課題を考えておく	渋川 美紀
4	【講義】看護と情報	第4章(P63～88)を読み、章末の復習と課題を考えておく	渋川 美紀
5	【講義】医療における情報システム	第5章(P89～128)を読み、章末の復習と課題を考えておく	渋川 美紀
6	【講義】情報倫理と医療	第6章(P131～140)を読み、章末の復習と課題を考えておく	渋川 美紀
7	【講義】患者の権利と情報	第7章(P141～158)を読み、章末の復習と課題を考えておく	渋川 美紀
8	【講義】個人情報の保護	第8章(P159～174)を読み、章末の復習と課題を考えておく	渋川 美紀
9	【講義】コンピューターリテラシーとセキュリティ	第9章(P175～194)を読み、章末の復習と課題を考えておく	渋川 美紀
10	【講義・演習】情報処理	第10章(P197～224)を読み、章末の復習と課題を考えておく	渋川 美紀
11	【講義・演習】Excel・Word・PowerPointの基本的な使い方	第11章(P225～250)を読み、章末の復習と課題を考えておく	渋川 美紀
12	【講義・演習】Excel・Word・PowerPointの基本的な使い方	第12章(P251～292)を読み、章末の復習と課題を考えておく	渋川 美紀
13	【講義・演習】Excelによる統計解析	第13章(P293～330)を読み、章末の復習と課題を考えておく	渋川 美紀
14	【講義・演習】Excelによる統計解析	第14章(P331～357)を読み、章末の復習と課題を考えておく	渋川 美紀
15	【試験】	これまでの復習をする	渋川 美紀

テキスト	系統看護学講座 別巻 看護情報学 医学書院
参考書	
成績評価の方法	筆記試験・課題レポート・プレゼンテーション
その他、受講生への要望など	

授業科目	英語 I		
担当者名	堤 裕美子	実務経験	
年次	1年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	15時間
授業科目の概要	国際化の進展に伴い、医療現場でのコミュニケーションのツールとして英語を用いる機会が増えつつある。本科目では、医療現場でよく使われる医学英語の専門用語、略語等を理解するための英語の基礎的知識を養う。		
授業科目の到達目標	1.医療英語の理解と活用に必要な、英語の基礎知識を修得する。 2. 医療従事者として必要となる身体の部位・疾患や症状を英語で正しく表記し、発音する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】 オリエンテーション		堤 裕美子
2	【講義・演習】 英語の基礎		堤 裕美子
3	【講義・演習】 英会話と自己紹介		堤 裕美子
4	【講義・演習】 医療英語の基礎		堤 裕美子
5	【講義・演習】 医療英語		堤 裕美子
6	【講義・演習】 医療英会話		堤 裕美子
7	【講義・演習】 まとめ		堤 裕美子
8	【試験】		堤 裕美子

テキスト	Speaking of Nursing (南雲堂) ISBN: 9784523178507
参考書	
成績評価の方法	出席 (30%)、課題及び提出物 (35%)、筆記試験 (35%)
その他、受講生への要望など	英語が苦手な人も好きな人も、現場を想定して役立つ内容を学習していくので積極的な受講を期待します。

授業科目	さくらゼミナールⅠ		
担当者名	阿部未映子 千嶋 巖	実務経験	○
年次	1年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	15時間
授業科目の概要	さくら看護専門学校での学習に必要な姿勢、知識、スキルを理解する。		
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 卒業までに身につける能力がわかる。 2. 学校生活でのルールや社会人になるためのマナーがわかる。 3. 学習への取り組み方と協同して学習する方法がわかる。 4. 論理的思考を用いたレポートの書き方がわかる。 		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】 1. 教育理念、卒業までに身につける能力（DP）、授業概要一覧 2. 単位修得について（細則）	学生生活・まとめシート	阿部 未映子
2	【講義】 1. 学校生活について 2. 専門学校での学び 3. その他 ・ハラスメント防止に関するガイドライン・防災、防犯に関して ・年間行事・奨学金に関して（県 病院）	学生生活・まとめシート	阿部 未映子
3	【講義】 1. カリキュラムに関して ・シラバス、時間割の見方・Googleクラスルームの使い方・授業資料の管理方法 2. 保健に関して ・健康診査に関して（オリエンテーション）・ワクチン接種に関して 3. 学生保険と諸手続きについて	学生生活・まとめシート	阿部 未映子
4	【講義・演習】看護学校での学び①LTD話し合い学習法	課題文「看護学校での学び方」事前ワークシート	阿部 未映子
5	【講義・演習】看護学校での学び②LTD話し合い学習法	レポート課題：ミーティングの振り返り	阿部 未映子
6	【講義・演習】論理的思考、レポートの書き方	レポート課題	阿部 未映子
7	【講義】専門学校での生活①（飲酒、喫煙、薬物など）		千嶋 巖
8	【講義】専門学校での生活②（こころ）		千嶋 巖

テキスト	なし
参考書	藤井徹也著：看護学生スタートブック第2版，医学書院
成績評価の方法	①学生生活・まとめシート：20点 ②LTDループリック：60点 ③レポート課題ループリック：20点
その他、受講生への要望など	学校生活でのルールや社会人になるためのマナーを再確認します。また、求められる看護師になるために、3年間の学校生活をどのように過ごしたらよいか仲間と共に考えていきましょう。

授業科目	さくらゼミナールII		
担当者名	佐藤宏子・小堀明美・瀬畑仁美・飯島 諒	実務経験	○
年次	1年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	15時間
授業科目の概要	看護師を目指して入学した仲間と目的を実現しようという気持ちを確立する。		
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学生相互の親睦と連帯意識を高める。 2. 看護師を目指す自己をみつめ、その価値に気づく。 		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義・演習】 ガイダンス 校外演習オリエンテーション		佐藤 宏子
2	【校外演習】自己紹介・看護師を目指した理由 星降る学校「くまの木」	看護師を目指した理由	小堀 明美
3	【校外演習】グループワーク/グループ活動		小堀 明美
4	【校外演習】グループ活動		小堀 明美
5	【講義・演習】看護師を目指す自己を見つめる① リフレクション	事前：基礎看護学実習Iでの コミュニケーション場面の振 り返り 事後：課題レポート	瀬畑 仁美
6	【講義・演習】看護師を目指す自己を見つめる② 対象と関わるうえで自分自身が大切にしたいこと	事後レポート：対象と関わる うえで自分自身が大切にしたい こと	瀬畑 仁美
7	【講義・演習】看護師を目指す自己を見つめる③ 看護師について考える	事後レポート：看護師につい て考えたこと	飯島 諒 瀬畑 仁美
8	【講義・演習】看護師を目指す自己を見つめる④ 看護師を目指す自分と仲間について考える	事後レポート：看護師を目指 す自分と仲間	瀬畑 仁美

テキスト	
参考書	
成績評価の方法	佐藤・小堀：配点30点、瀬畑：60点、飯島：10点
その他、受講生への要 望など	同じ目標を持った仲間と、グループワーク・グループ活動を通して積極的に活動しましょう。また、演習をとおして、 自己の考えを広げたり、深めることを期待します。

授業科目	人間関係論		
担当者名	宮之脇 義文	実務経験	○
年次	1年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	自己理解を深め、その上でコミュニケーションの知識、技法を学ぶことにより、日常の人間関係を良好に保つ能力を身に付けるとともに、看護の対象となる人との良好な関係づくりの基盤を学ぶ。		
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自分から見た自分、自分から見た他者、他者から見た自分について理解する。 2. 他者と信頼し合える良好な関係を形成し、維持・発展するための理論と技法を理解する。 3. カウンセリング・心理療法の種類とその方法を説明する。 4. 他者の立場に立って、その人の感情や行動について考えることができ、自分の対応を選択できる。 5. 保健医療におけるチームの特性と看護師の役割を説明する。 6. 医療者として、対象となる人々を理解し、状況に応じた説明や対応をするための基礎知識を修得する。 		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義・演習】人間関係の中の自己と他者		宮之脇 義文
2	【講義・演習】対人関係と役割		宮之脇 義文
3	【講義・演習】態度と対人行動		宮之脇 義文
4	【講義・演習】態度と対人行動		宮之脇 義文
5	【講義・演習】集団と個人		宮之脇 義文
6	【講義・演習】コミュニケーション		宮之脇 義文
7	【講義・演習】対人コミュニケーション		宮之脇 義文
8	【講義・演習】カウンセリング・心理療法の理論とスキル		宮之脇 義文
9	【講義・演習】コーチングの理論とスキル		宮之脇 義文
10	【講義・演習】アサーティブ-コミュニケーション		宮之脇 義文
11	【講義・演習】医療におけるチームと看護師の役割		宮之脇 義文
12	【講義・演習】患者を支える人間関係		宮之脇 義文
13	【講義・演習】家族を含めた人間関係		宮之脇 義文
14	【講義・演習】地域をつくる人間関係		宮之脇 義文
15	【試験】		内部教員

テキスト	メディカルスタッフのための基礎からわかる人間関係論 南山堂	
参考書		
成績評価の方法	筆記試験・課題レポート	
その他、受講生への要望など		

授業科目	心理学		
担当者名	宮之脇 義文	実務経験	○
年次	1年次	学期	後期
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	心理学の基本的な理論をもとに人間の心の形成・発達プロセスについて学び、自己分析し、自己理解を深めることによって、自己と広く人間一般の行動と心理とその背景について考える視点を養う。自己の成長と生きる力の増進、及びより良い人間関係の構築に活かす。		
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 心理学の基本的な概念について説明する。 2. 感覚・知覚のしくみとはたらき、記憶、思考・言語・知能について説明する。 3. 心の適応と不適応について説明する。 4. 心理学の各領域の特色を説明する。 5. 対人援助と心理学について説明する。 6. 自己の成長とより良い人間関係を構築するための力を養う。 		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義・演習】心理学とは		宮之脇 義文
2	【講義・演習】感覚と知覚		宮之脇 義文
3	【講義・演習】記憶		宮之脇 義文
4	【講義・演習】思考・言語・知能		宮之脇 義文
5	【講義・演習】学習		宮之脇 義文
6	【講義・演習】感情と動機づけ		宮之脇 義文
7	【講義・演習】性格とパーソナリティ		宮之脇 義文
8	【講義・演習】社会と集団		宮之脇 義文
9	【講義・演習】発達		宮之脇 義文
10	【講義・演習】心の適応と不適応		宮之脇 義文
11	【講義・演習】心理療法		宮之脇 義文
12	【講義・演習】医療職と対人援助		宮之脇 義文
13	【講義・演習】患者の心理		宮之脇 義文
14	【講義・演習】医療・看護職の心理と心のケア		宮之脇 義文
15	【試験】		内部教員

テキスト	心理学・臨床心理学概論 第3版 北樹出版
参考書	
成績評価の方法	筆記試験・課題レポート
その他、受講生への要望など	

授業科目	哲学		
担当者名	宮之脇 義文	実務経験	○
年次	1年次	学期	後期
単位	1単位	時間数	15時間
授業科目の概要	哲学は人間のあらゆる知的営みの根本の学びととらえる立場から「人間とは何か」「人間とはいかに生きるべきか」という根本的な問いを考える学問である。本科目では、哲学という学問についての包括的な知識について学び、現代社会の諸問題を視野に入れながら深く考える態度を養成する。		
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 西洋の知の伝統を振り返り、その根本特徴を理解するとともに東洋的なものの見方考え方と比較考察する。 2. 現代の諸問題の根底にあるものを理解し、解決の方向性を深く考える態度を養う。 3. 自分自身の生き方について内省し、同時に他者の心情を思いやる態度を涵養する。 		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】 哲学とは何か		宮之脇 義文
2	【講義】 古代の哲学		宮之脇 義文
3	【講義】 中世の哲学		宮之脇 義文
4	【講義】 近代の哲学		宮之脇 義文
5	【講義】 東洋の思想		宮之脇 義文
6	【講義・演習】 現代科学の諸問題（生命倫理）		宮之脇 義文
7	【講義・演習】 哲学の今後の課題		宮之脇 義文
8	【試験】		内部教員

テキスト	哲学入門 第3版 身体・表現・世界 学研		
参考書			
成績評価の方法	筆記試験・課題レポート		
その他、受講生への要望など			

授業科目	文化人類学		
担当者名	齋藤 正憲	実務経験	○
年次	1年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	文化人類学は「人間とは何か」について社会的・文化的側面から研究する学問である。自分が属する社会と異なる文化をもつ社会や民族間の比較を通して生活習慣や健康、病気についての異なる考え方を理解し、人間のものの見方や考え方の多様性について学修する。		
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文化人類学の基本的な理論や手法について説明する。 2. 病気に関わる諸現象を疾病／病気／病いという区別を使って説明する。 3. 人間の誕生から死までについて様々な立場から考察する。 4. 医療や身体をめぐる多様な価値観について具体的に説明する。 		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】文化人類学とは何か？	テキストpp.16-21を讀んでおくこと	齋藤 正憲
2	【講義】文化人類学の理論①：贈与論	テキストpp.34-39を讀んでおくこと	齋藤 正憲
3	【講義】文化人類学の理論②：親族の基本構造	テキストpp.76-82を讀んでおくこと	齋藤 正憲
4	【講義】文化人類学の理論③：構造主義	レヴィ＝ストロースについて調べておく	齋藤 正憲
5	【講義】文化人類学の理論④：中心と周縁	両義性について調べておくこと	齋藤 正憲
6	【講義】動物化するポストモダン	動物化について調べておくこと	齋藤 正憲
7	【講義】家族のなりたち、現代社会と家族	テキストpp.67-75を讀んでおくこと	齋藤 正憲
8	【講義】ジェンダーとセクシュアリティ	テキストpp.57-64を讀んでおくこと	齋藤 正憲
9	【講義】人生と通過儀礼	テキストpp.110-115を讀んでおくこと	齋藤 正憲
10	【講義】宗教と文化人類学	テキストpp.135-140を讀んでおくこと	齋藤 正憲
11	【講義】呪術の文化人類学①：石垣のユタとツカサ	呪術について調べておくこと	齋藤 正憲
12	【講義】呪術の文化人類学②：宮古のカンカカリヤ	ユタとツカサの関係についてまとめる	齋藤 正憲
13	【演習】医療人類学	テキストpp.163-170を讀んでおくこと	齋藤 正憲
14	【演習】いのちと文化	テキストpp.206-207を讀んでおくこと	齋藤 正憲
15	【試験】		内部教員

テキスト	系統看護学講座 基礎分野 文化人類学 医学書院	
参考書		
成績評価の方法	筆記試験	
その他、受講生への要望など		

授業科目	生活環境論		
担当者名	長江 庸泰	実務経験	○
年次	1年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	15時間
授業科目の概要	地球上に誕生した生物は、環境との相互作用で多様な生物に進化し、それらは互いに関連し合って生態系を構築している。私たちヒトがどのように環境に適応し生活しているかを学ぶとともに、私たちの生活が生態系のバランスと生物の多様性によって支えられていることに気付き、その恵みを持続させることの重要性を学ぶ。また、生活環境の障壁(バリアー)を理解し、環境整備の基本的知識を学ぶ。		
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地球環境の仕組みを説明できる。 2. 国際社会が国連の掲げる「持続可能な開発目標 (SDGs)」達成のために努力していることを説明できる。 3. 私たちの生活は生態系サービスに支えられていることを説明できる。 4. 生活環境の概念と論点について社会構造、疾病構造、生活構造の変遷について説明できる。 5. バリアフリー、ユニバーサルデザインの考え方について説明できる。 6. 地域で暮らす人々が社会参加できるための方策を生活環境の整備から説明できる。 		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】人間を取り巻く自然環境	随時指示	長江 庸泰
2	【講義】悪化する自然環境	随時指示	長江 庸泰
3	【講義】環境を取り巻く社会的動向	随時指示	長江 庸泰
4	【講義】生物多様性と私たちの暮らしを支える生態系サービス	随時指示	長江 庸泰
5	【講義】生物多様性の保全	随時指示	長江 庸泰
6	【講義】生活・環境（ノーマライゼーション・バリアフリー・ユニバーサルデザイン）	随時指示	長江 庸泰
7	【講義】街づくりの理念と考え方（ハートビル法・交通バリアフリー法）	随時指示	長江 庸泰
8	【講義】住まいに必要とされる条件	随時指示	長江 庸泰

テキスト	長江庸泰作成の“デジタルテキスト[生活環境論 2024年度版]”を活用する。
参考書	参考図書(生活環境論入門 第3版、等)は随時指示する。
成績評価の方法	課題レポート 随時指示する。
その他、受講生への要望など	事前・事後学習とともに「問題解決型のアクティブラーニング」を常に心掛けること。

授業科目	法と人権		
担当者名	桑島 翠	実務経験	○
年次	1年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	15時間
授業科目の概要	<p>専門職業人として必要な人権感覚を身につけるため、人権とは何か、人権と法との関係について学習する。また、人権を守るとはどのようなことなのか、現代社会における人権に関する諸問題について考察することにより、人権擁護に努める態度を養う。</p>		
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人権保障の歴史と意義について知る。 2. 日本国憲法における人権規定の内容と関係法規について理解する。 3. 自己決定権のあり方が考えられる。 4. 日本における人権問題を理解し、解決策を考える。 		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】 イントロダクション、人権の享有主体		桑島 翠
2	【講義】 幸福追求権		桑島 翠
3	【講義】 法の下での平等		桑島 翠
4	【講義】 思想・良心の自由、信教の自由		桑島 翠
5	【講義】 表現の自由		桑島 翠
6	【講義】 経済的自由		桑島 翠
7	【講義】 社会権		桑島 翠
8	【試験】		

テキスト	
参考書	憲法Ⅰ 人権 有斐閣 青木未帆、山本龍彦
成績評価の方法	筆記試験
その他、受講生への要望など	

授業科目	教育学		
担当者名	黒羽 正見	実務経験	○
年次	1年次	学期	後期
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	<p>教育とは相手を知り、個人に合った方法を提供し、的確に評価していくことである。本科目では、人間の発達や教育の思想・制度といった観点から看護における教育的役割および生涯学習、教育の意義について理解を深め、考察する。また、看護実践の応用につながる専門職としてのあり方について、教育学的思考や専門職としての倫理観から検討するとともに、教育をめぐる社会的問題等について学修する。</p>		
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育に関する基礎的な概念を理解する。 2. 教育の対象者への関わり方を理解する。 3. 発達と教育の関係を説明する。 4. 現代社会と教育の課題を提言できる。 		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】教育の概念		黒羽 正見
2	【講義】教育の対象		黒羽 正見
3	【講義】教育の組織化		黒羽 正見
4	【講義】人を教えるということ		黒羽 正見
5	【講義】訓育/養護		黒羽 正見
6	【講義】発達		黒羽 正見
7	【講義】学びの場－家庭と学校		黒羽 正見
8	【講義】教育の担い手		黒羽 正見
9	【講義】教育の場の変動		黒羽 正見
10	【講義】キャリア教育（専門教育）		黒羽 正見
11	【講義】ジェンダーとセクシュアリティ		黒羽 正見
12	【講義】特別ニーズ教育・インクルーシブ教育		黒羽 正見
13	【講義】生涯学習		黒羽 正見
14	【講義】シティズンシップ教育		黒羽 正見
15	【試験】		内部教員

テキスト	系統看護学講座 基礎分野 教育学 医学書院		
参考書			
成績評価の方法	筆記試験		
その他、受講生への要望など			

授業科目	人体の構造と機能Ⅰ		
担当者名	関根 麗子	実務経験	○
年次	1年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	健康な人体の構造と機能を学修する。		
授業科目の到達目標	1. 解剖生理学のための基礎知識(細胞と組織) について説明する。 2. 筋・骨格系の構造とはたらきを説明する。 3. 循環器の構造とはたらきを説明する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】第1章 解剖生理学のための基礎知識 ・構造からみた人体	解剖学用語手帳の作成しよう	関根 麗子
2	【講義】第1章 解剖生理学のための基礎知識 ・ホメオスタシス ・素材からみた人体(細胞の構造・細胞を構成する物質とエネルギーの生成)	ひとが生きていることの仕組みをまとめよう	関根 麗子
3	【講義】第1章 解剖生理学のための基礎知識 ・素材からみた人体(体液・染色体・分化した細胞がつくる組織)		関根 麗子
4	【講義】第7章 身体の支持と運動 ・骨格とはどのようなものか ・骨の連結	骨の機能(物理的・生理的)をまとめよう	関根 麗子
5	【講義】第7章 身体の支持と運動 ・骨格筋 ・体幹の骨格と筋	全身の骨の名前を覚える	関根 麗子
6	【講義】第7章 身体の支持と運動 ・上肢の骨格と筋 ・下肢の骨格と筋 ・頭頸部の骨格と筋	筋肉で身体の地図帳の作成しよう	関根 麗子
7			関根 麗子
8	【講義】第7章 身体の支持と運動 ・筋の収縮 ・運動と代謝		関根 麗子
9	【講義】第4章 血液の循環とその調整 ・循環器系の構成 ・心臓の構造	「動脈と動脈、心臓の構造について」作成しよう	関根 麗子
10	【講義】第4章 血液の循環とその調整 ・心臓の拍出機能 ・血液の循環の調整	検証「心臓と血圧の関係性」でわかったことの作成しよう	関根 麗子
11			関根 麗子
12	【講義】第4章 血液の循環とその調整 ・末梢循環系の構造	全身の動脈と静脈を覚えよう	関根 麗子
13			関根 麗子
14	【講義】第4章 血液の循環とその調整 ・リンパとリンパ管	リンパのまとめを作成しよう	関根 麗子
15	試験		内部教員

テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能〔1〕解剖生理学 医学書院		
参考書			
成績評価の方法	筆記試験 配点：100点		
その他、受講生への要望など	授業計画に目を通し予習して、授業内容の概略を確認して授業に臨むことを望みます。解剖学用語がたくさんでくるので、予習により授業内容を理解しやすくなり、分かりにくいところを把握しやすくなります。課題は都度説明いたします。(自分自身の解剖ノート作成)		

授業科目	人体の構造と機能Ⅱ		
担当者名	太田 浩史	実務経験	○
年次	1年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	健康な人体の構造と機能を学修する。		
授業科目の到達目標	1.呼吸器系の名称や構造の特徴を記述することができる 2.呼吸メカニズムについて要点を抑え説明することができる 3.血液の種類と各血球の働きについて記述することができる 4.感染防御について皮膚・血球の働きと関連付けて考えることができる 5.体温調整のメカニズムについて記述することができる 6.男性・女性生殖器の部位の名称がわかる		

回数	内容・方法	課題	担当	
1	【講義】第3章 呼吸と血液のはたらき	呼吸器系の講義が5回で終了します。6回目授業開始時に小テストを実施し、点数は評価に反映します。	太田 浩史	
2	・呼吸器の構造（呼吸器の構成、気道、肺、胸膜・縦隔）		太田 浩史	
3	【講義】第3章 呼吸と血液のはたらき		太田 浩史	
4	・呼吸（気道の機能、呼吸のメカニズム、呼吸気量、呼吸調整）		太田 浩史	
5			太田 浩史	
6	【小テスト】呼吸器系の構造と機能 【講義】第3章 呼吸と血液のはたらき	血液・免疫系の講義が11回目で終了します。12回目授業開始時に小テストを実施し、点数は評価に反映します。	太田 浩史	
7	・血液の組成と機能 ・赤血球 ・血液型		太田 浩史	
8	【講義】第3章 呼吸と血液のはたらき 第9章 身体機能の防御と適応		太田 浩史	
9	・白血球 ・生体の防御機構		太田 浩史	
10	【講義】第3章 呼吸と血液のはたらき ・血小板 ・血液の凝固と線維素溶解		太田 浩史	
11	【講義】第9章 身体機能の防御と適応 ・皮膚の構造と機能		太田 浩史	
12	【小テスト】血液・免疫系のはたらき（皮膚の機能も含む） 【講義】第9章 身体機能の防御と適応 ・体温とその調整		太田 浩史	
13	【講義】第10章 生殖器のはたらき ・男性生殖器		太田 浩史	
14	【講義】第10章 生殖器のはたらき ・女性生殖器		太田 浩史	
15	試験			内部教員

テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能〔1〕解剖生理学 医学書院		
参考書			
成績評価の方法	筆記試験＝終講試験（70点）＋小テスト（30点） ＊講義時の様子で各テストの配点は前後する可能性があります。		
その他、受講生への要望など	人体理解の基礎となる科目であり、この科目で学習する内容が、今後の学習の理解の助けになります。しかし、とても難しい内容になりますので、授業後の復習を欠かさず行い、次の授業時には前の授業で行ったことを理解した上で授業に望むようにして下さい。		

授業科目	人体の構造と機能Ⅲ		
担当者名	太田 浩史	実務経験	○
年次	1年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	健康な人体の構造と機能を学修する。		
授業科目の到達目標	1.体表から触知できる主要な人体部位について暗記・記述できる 2.消化管の構造と消化メカニズムとを関連付けて考えることができる 3.膵胆肝の働きについて要点をおさえ説明することができる 4.腎・泌尿器系の構造について記述できる 5.尿の生成メカニズムについて説明することができる 6.胎児の発生・成長と老化の基礎的な内容について理解できる		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】第11章 体表からみた人体の構造 ・体表から触知できる骨格部分 ・体表から触知できる大きな筋	消化器系の講義が7回で終了します。8回目授業開始時に小テストを実施し、点数は評価に反映させていただきます。	太田 浩史
2	・体表から触知できる動脈 ・体表から到達できる静脈		太田 浩史
3	【講義】第2章 栄養の消化と吸収 ・口、咽頭、食道の構造と機能		太田 浩史
4	【講義】第2章 栄養の消化と吸収		太田 浩史
5	・腹部消化管の構造と機能		太田 浩史
6	【講義】第2章 栄養の消化と吸収		太田 浩史
7	・膵臓、肝臓、胆のうの構造と機能 ・腹膜		太田 浩史
8	【小テスト】消化器系の構造と機能	腎・泌尿器系の講義が11回で終了します。12回目授業開始時に小テストを実施し、点数は評価に反映させていただきます。	太田 浩史
9	【講義】第5章 体液の調整と尿の生成 ・腎臓		太田 浩史
10	【講義】第5章 体液の調整と尿の生成 ・排尿路		太田 浩史
11	【講義】第5章 体液の調整と尿の生成 ・体液の調整		太田 浩史
12	【小テスト】腎泌尿器系の構造と機能		太田 浩史
13	【講義】第10章 生殖・発生と老化のしくみ ・受精と胎児の発生	太田 浩史	
14	【講義】第10章 生殖・発生と老化のしくみ ・成長と老化	太田 浩史	
15	試験		内部教員

テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能〔1〕解剖生理学 医学書院		
参考書			
成績評価の方法	筆記試験＝終講試験（70点）＋小テスト（30点） *講義時の様子で各テストの配点は前後する可能性があります。		
その他、受講生への要望など	人体理解の基礎となる科目であり、この科目で学習する内容が、今後の学習の理解の助けになります。しかし、とても難しい内容になりますので、授業後の復習を欠かさず行い、次の授業時には前の授業で行ったことを理解した上で授業に望むようにして下さい。		

授業科目	人体の構造と機能Ⅳ		
担当者名	関根 麗子	実務経験	○
年次	1年次	学期	後期
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	健康な人体の構造と機能を学修する。		
授業科目の到達目標	1. 内分泌系の構造とはたらきを説明する。 2. 脳・神経系の構造とはたらきを説明する。 3. 感覚器の構造とはたらきを説明する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】第6章 内臓機能の調節 ・自律神経による調節	自律神経の図を作成しよう	関根 麗子
2	【講義】第6章 内臓機能の調節 ・内分泌による調節 ・視床下部－下垂体系ホルモン ・甲状腺と副甲状腺ホルモン ・膵臓から分泌されるホルモン ・副腎から分泌されるホルモン ・性腺から分泌されるホルモン ・その他の内分泌腺	各ホルモンのマップの作成をしよう	関根 麗子
3			関根 麗子
4			関根 麗子
5			関根 麗子
6			【講義】第6章 内臓機能の調節 ・ホルモン分泌の調節
7	【講義】第6章 内臓機能の調節 ・ホルモンによる調整の実際		関根 麗子
8	【講義】第8章 情報の受容と処理 ・神経系の構造と機能		関根 麗子
9	【講義】第8章 情報の受容と処理 ・脊髄と脳 ・脊髄神経と脳神経 ・運動機能と下行伝導路 ・感覚機能 ・体性感覚と上行伝導路	身体を動かすメカニズム作成しよう	関根 麗子
10			関根 麗子
11			関根 麗子
12	【講義】第8章 情報の受容と処理 ・眼の構造と視覚	「見る」を仕組み化しよう	関根 麗子
13	【講義】第8章 情報の受容と処理 ・耳の構造と聴覚、平衡覚 ・味覚と嗅覚	「感覚器が遮断されるとどうなるのか検証」後レポート作成	関根 麗子
14	【講義】第8章 情報の受容と処理 ・痛み（疼痛） ・脳の統合機能	「ニューロンとシナプス演習」後レポート作成	関根 麗子
15	試験		内部教員

テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能〔1〕解剖生理学 医学書院		
参考書			
成績評価の方法	筆記試験 配点：100点		
その他、受講生への要望など	授業計画に目を通し予習して、授業内容の概略を確認して授業に臨むことを望みます。解剖学用語がたくさんでくるので、予習により授業内容を理解しやすくなり、分かりにくいところを把握しやすくなります。課題は都度説明いたします。（自分自身の解剖ノート作成）		

授業科目	生化学		
担当者名	久保川 利哉	実務経験	○
年次	1年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	15時間
授業科目の概要	細胞における栄養素の代謝過程と人体の正常機能を維持するための仕組みを学修する。		
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 代謝の基礎と酵素・補酵素について説明する。 2. 糖質の構造と機能、糖質代謝について説明する。 3. 脂質の構造と機能、脂質代謝について説明する。 4. タンパク質の構造と機能、タンパク質代謝について説明する。 5. 遺伝情報について説明する。 6. 細胞のシグナル伝達とがんについて説明する。 		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】生化学とは		久保川 利哉
2	【講義】代謝の基礎と酵素・補酵素		久保川 利哉
3	【講義】糖質の構造と機能、糖質代謝		久保川 利哉
4	【講義】脂質の構造と機能、脂質代謝		久保川 利哉
5	【講義】タンパク質の構造と機能、タンパク質代謝		久保川 利哉
6	【講義】遺伝情報		久保川 利哉
7	【講義】細胞のシグナル伝達とがん		久保川 利哉
8	【試験】		内部教員

テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 [2] 生化学		
参考書			
成績評価の方法	筆記試験 配点100点		
その他、受講生への要望など			

授業科目	微生物学		
担当者名	久保川 利哉	実務経験	○
年次	1年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	15時間
授業科目の概要	微生物の特徴と人体への影響について学修する。 感染症、および各感染症を引き起こす病原微生物の特徴とそれぞれの治療について学修する。		
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 微生物の基礎について説明する。 2. 感染と感染症について説明する。 3. 感染に対する生体防御について説明する。 4. 感染症の検査と診断、治療について説明する。 5. 病原細菌と細菌感染症について説明する。 6. 病原ウイルスとウイルス感染症について説明する。 7. 病原真菌と真菌感染症について説明する。 8. 寄生虫と衛生動物について説明する。 		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】微生物学の基礎（微生物と微生物学、細菌・ウイルス・真菌の性質）		久保川 利哉
2	【講義】感染と感染症		久保川 利哉
3	【講義】感染に対する生体防御機構		久保川 利哉
4	【講義】感染症の検査と診断、感染症の治療、感染症の現状と対策		久保川 利哉
5	【講義】病原細菌と細菌感染症		久保川 利哉
6	【講義】病原ウイルスとウイルス感染症		久保川 利哉
7	【講義】病原真菌と真菌感染症、寄生虫と衛生動物		久保川 利哉
8	【試験】筆記試験		内部教員

テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進 [4] 微生物学
参考書	
成績評価の方法	筆記試験：配点100点
その他、受講生への要望など	

授業科目	栄養学		
担当者名	益子 芙美代・大阿久 祐一	実務経験	○
年次	1年次	学期	後期
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	様々な栄養素の栄養学的機能と、各栄養素および人体との相互作用を学修し、看護実践の基礎とする。		
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養素の種類と働きについて説明する。 2. 食物の消化と栄養素の吸収・代謝について説明する。 3. エネルギー代謝について説明する。 4. 食事、食品群の分類とその特徴について説明する。 5. 栄養ケア・マネジメントについて説明する。 6. 栄養状態の評価・判定について説明する。 7. ライフステージごとの特徴と、そこにおける栄養ケア・マネジメントについて説明する。 8. 病院における栄養管理と各疾患患者の食事療法について説明する。 9. 我が国における食生活の変遷と問題点、改善への施策について説明する。 		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】栄養学とは・栄養士の役割		益子 芙美代
2	【講義】栄養素の種類とはたらき①		益子 芙美代
3	【講義】栄養素の種類とはたらき②		益子 芙美代
4	【講義】食物の消化と栄養素の吸収・代謝		益子 芙美代
5	【講義】エネルギー代謝		益子 芙美代
6	【講義】食事と食品		益子 芙美代
7	【講義】栄養ケア・マネジメント①		益子 芙美代
8	【講義】栄養ケア・マネジメント②		益子 芙美代
9	【講義】栄養状態の評価・判定①		益子 芙美代
10	【講義】栄養状態の評価・判定②		益子 芙美代
11	【講義】ライフステージと栄養		益子 芙美代
12	【講義】健康づくりと食生活		益子 芙美代
13	【講義】臨床栄養① ・チームで取り組む栄養管理の実際 ・病院食 ・経腸栄養剤		大阿久 祐一
14	【講義】臨床栄養② ・疾患別・症状別食事療法 ・場面別の栄養管理		大阿久 祐一
15	【試験】筆記試験		内部教員

テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能3 栄養学 医学書院
参考書	
成績評価の方法	筆記試験 配点100点(益子先生：80点 大阿久先生：20点)
その他、受講生への要望など	楽しく栄養学を学びましょう。よろしくお願いします。(益子)

授業科目	薬理学		
担当者名	佐藤 健太郎	実務経験	○
年次	1年次	学期	後期
単位	2単位	時間数	30時間
授業科目の概要	薬物療法に必要な薬理学の基本的知識を学修する。		
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 薬の作用、薬物動態、薬物相互作用について説明する。 2. 薬効の個人差に影響する因子、薬物の有益性と危険性、薬と法律、物質としての薬物の分類について説明する。 3. 抗感染症薬について説明する。 4. 抗がん薬について説明する。 5. 免疫治療薬について説明する。 6. 抗アレルギー薬・抗炎症薬について説明する。 7. 末梢での神経活動に作用する薬物について説明する。 8. 中枢神経系に称する薬物について説明する。 9. 循環器系に作用する薬物について説明する。 10. 呼吸時・消化器・生殖器・泌尿器系に作用する薬物について説明する。 11. 物質代謝に作用する薬物について説明する。 12. 皮膚科用薬・眼科用薬、救急の際に使用される薬物について説明する。 13. 漢方薬・消毒薬について説明する。 		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】薬理学とは・薬剤師の役割		佐藤 健太郎
2	【講義】薬理学の基礎知識（薬の作用、薬物動態、薬物相互作用）		佐藤 健太郎
3	【講義】薬理学の基礎知識（薬効の個人差に影響する因子、薬物の有益性と危険性、薬と法律、物質としての薬物の分類）		佐藤 健太郎
4	【講義】抗感染症薬		佐藤 健太郎
5	【講義】抗がん薬		佐藤 健太郎
6	【講義】免疫治療薬		佐藤 健太郎
7	【講義】抗アレルギー薬・抗炎症薬		佐藤 健太郎
8	【講義】末梢での神経活動に作用する薬物		佐藤 健太郎
9	【講義】中枢神経系に作用する薬物		佐藤 健太郎
10	【講義】循環器系に作用する薬物		佐藤 健太郎
11	【講義】呼吸器・消化器・生殖器・泌尿器系に作用する薬物		佐藤 健太郎
12	【講義】物質代謝に作用する薬物		佐藤 健太郎
13	【講義】皮膚科用薬・眼科用薬、救急の際に使用される薬物		佐藤 健太郎
14	【講義】漢方薬と消毒薬		佐藤 健太郎
15	【試験】筆記試験		内部教員

テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進 [3] 薬理学
参考書	
成績評価の方法	筆記試験 配点100点
その他、受講生への要望など	

授業科目	疾病治療論Ⅰ		
担当者名	松村 啓	実務経験	○
年次	1年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	解剖生理学の知識を基に、機能障害を引き起こす疾患を理解し、回復のための検査、診断、治療や看護の概要を学修する。		
授業科目の到達目標	1. 疾病の概念について説明する。 2. 呼吸器に関連した疾患と検査、診断、治療について説明する。 3. 循環器に関連した疾患と検査、診断、治療について説明する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】疾患の概念① ・正常と病気の状態・循環障害・細胞組織の障害		松村 啓
2	【講義】疾患の概念② 感染症・腫瘍・先天異常と遺伝子異常・老化と死・死の定義		松村 啓
3	【講義】呼吸器に関連した疾患と検査、診断、治療① ・患者の特徴 ・呼吸器の構造と機能		松村 啓
4	【講義】呼吸器に関連した疾患と検査、診断、治療② ・おもな症状 ・検査と処置		松村 啓
5	【講義】呼吸器に関連した疾患と検査、診断、治療③ 疾患の理解・肺炎・結核・気管支喘息		松村 啓
6	【講義】呼吸器に関連した疾患と検査、診断、治療④ 疾患の理解 ・COPD・肺血栓塞栓症・ARDS		松村 啓
7	【講義】呼吸器に関連した疾患と検査、診断、治療⑤ 疾患の理解 ・睡眠無呼吸症候群		松村 啓
8	【講義】呼吸器に関連した疾患と検査、診断、治療⑥ 疾患の理解 ・肺がん		松村 啓
9	【講義】循環器に関連した疾患と検査、診断、治療① ・患者の特徴 ・循環器の構造と機能		松村 啓
10	【講義】循環器に関連した疾患と検査、診断、治療② ・おもな症状 ・検査と治療		松村 啓
11	【講義】循環器に関連した疾患と検査、診断、治療③ 疾患の理解 ・心不全・急性冠症候群		松村 啓
12	【講義】循環器に関連した疾患と検査、診断、治療④ 疾患の理解 ・不整脈 ・心弁膜症		松村 啓
13	【講義】循環器に関連した疾患と検査、診断、治療⑤ 疾患の理解 ・狭心症 ・動脈硬化		松村 啓
14	【講義】循環器に関連した疾患と検査、診断、治療⑥ 疾患の理解 ・大動脈瘤 ・静脈系疾患		松村 啓
15	試験		内部教員

テキスト	医学書院：人体の構造と機能〔1〕解剖生理学・疾病の成り立ちと回復の促進〔1〕病理学・成人看護学〔2〕呼吸器、〔3〕循環器	
参考書		
成績評価の方法	筆記試験 配点100点	
その他、受講生への要望など		

授業科目	疾病治療論Ⅱ		
担当者名	松村 啓・久保 房子・門馬 良明	実務経験	○
年次	1年次	学期	後期
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	解剖生理学の知識を基に、機能障害を引き起こす疾患を理解し、回復のための検査、診断、治療や看護の概要を学修する。		
授業科目の到達目標	1. 消化器に関連した疾患と検査、診断、治療について説明する。 2. 腎泌尿器に関連した疾患と検査、診断、治療について説明する。 3. 女性生殖器に関連した疾患と検査、診断、治療について説明する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】消化器に関連した疾患と検査、診断、治療① ・患者の特徴 ・消化器の構造と機能 ・主な症状 ・検査と治療 疾患の理解・胃・十二指腸潰瘍		松村 啓
2	【講義】消化器に関連した疾患と検査、診断、治療② 疾患の理解 ・食道がん・胃がん		松村 啓
3	【講義】消化器に関連した疾患と検査、診断、治療③ 疾患の理解・潰瘍性大腸炎・クローン病・大腸がん		松村 啓
4	【講義】消化器に関連した疾患と検査、診断、治療④ 疾患の理解 ・肝臓がん・肝炎、肝硬変症・胆石症		松村 啓
5	【講義】消化器に関連した疾患と検査、診断、治療⑤ 疾患の理解 ・胆管がん ・膵臓がん ・膵炎		松村 啓
6	【講義】腎泌尿器に関連した疾患と検査、診断、治療① ・患者の特徴 ・腎泌尿器の構造と機能 ・主な症状 ・検査と治療		門馬 良明
7	【講義】腎泌尿器に関連した疾患と検査、診断、治療② 疾患の理解 ・急性糸球体腎炎・腎盂腎炎		門馬 良明
8	【講義】腎泌尿器に関連した疾患と検査、診断、治療③ 疾患の理解・慢性腎臓病・ネフローゼ症候群		門馬 良明
9	【講義】腎泌尿器に関連した疾患と検査、診断、治療④ 疾患の理解 ・腎不全		門馬 良明
10	【講義】腎泌尿器に関連した疾患と検査、診断、治療⑤ 疾患の理解 ・膀胱がん・前立腺がん・男性性機能障害		門馬 良明
11	【講義】女性生殖器に関連した疾患と検査、診断、治療① ・患者の特徴 ・女性生殖器の構造と機能 ・主な症状 ・検査と治療		久保 房子
12	【講義】女性生殖器に関連した疾患と検査、診断、治療② 疾患の理解 ・子宮筋腫・子宮内膜症		久保 房子
13	【講義】女性生殖器に関連した疾患と検査、診断、治療③ 疾患の理解 ・子宮頸がん・子宮体がん		久保 房子
14	【講義】女性生殖器に関連した疾患と検査、診断、治療④ 疾患の理解 ・卵管の疾患・卵巣の疾患		久保 房子
15	試験		内部教員

テキスト	医学書院：人体の構造と機能〔1〕解剖生理学・成人看護学〔5〕消化器、〔8〕腎泌尿器〔9〕女性生殖器
参考書	
成績評価の方法	筆記試験100点(松村先生：40点、門馬先生40点、久保先生20点)
その他、受講生への要望など	

授業科目	疾病治療論Ⅲ		
担当者名	松村 啓	実務経験	○
年次	1年次	学期	後期
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	解剖生理学の知識を基に、機能障害を引き起こす疾患を理解し、回復のための検査、診断、治療や看護の概要を学修する。		
授業科目の到達目標	1. 血液・造血器に関連した疾患と検査、診断、治療について説明する。 2. 内分泌・代謝に関連した疾患と検査、診断、治療について説明する。 3. 免疫・アレルギーに関連した疾患と検査、診断、治療について説明する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】血液・造血器に関連した疾患と検査、診断、治療① ・患者の特徴 ・血液の生理と造血の仕組み ・検査、治療		松村 啓
2	【講義】血液・造血器に関連した疾患と検査、診断、治療② 疾患の理解 ・赤血球の異常 貧血		松村 啓
3	【講義】血液・造血器に関連した疾患と検査、診断、治療③ 疾患の理解 ・白血球の異常		松村 啓
4	【講義】血液・造血器に関連した疾患と検査、診断、治療④ 疾患の理解 ・造血器腫瘍 白血病 悪性リンパ書		松村 啓
5	【講義】血液・造血器に関連した疾患と検査、診断、治療⑤ 疾患の理解 ・出血性疾患 ITP 血友病		松村 啓
6	【講義】内分泌・代謝に関連した疾患と検査、診断、治療① ・患者の特徴 ・内分泌器官の構造と機能 ・検査、治療		松村 啓
7	【講義】内分泌・代謝に関連した疾患と検査、診断、治療② 疾患の理解 ・下垂体疾患		松村 啓
8	【講義】内分泌・代謝に関連した疾患と検査、診断、治療③ 疾患の理解 ・糖尿病		松村 啓
9	【講義】内分泌・代謝に関連した疾患と検査、診断、治療④ 疾患の理解 ・バセドウ病・甲状腺機能低下症		松村 啓
10	【講義】内分泌・代謝に関連した疾患と検査、診断、治療⑤ 疾患の理解 ・高尿酸血症・脂質異常症		松村 啓
11	【講義】免疫・アレルギーに関連した疾患と検査、診断、治療① ・患者の特徴 ・免疫の仕組みとアレルギー ・検査、治療		松村 啓
12	【講義】免疫・アレルギーに関連した疾患と検査、診断、治療② 疾患の理解 ・アレルギー アナフィラキシーショック		松村 啓
13	【講義】免疫・アレルギーに関連した疾患と検査、診断、治療③ 疾患の理解 ・膠原病		松村 啓
14	【講義】免疫・アレルギーに関連した疾患と検査、診断、治療④ 疾患の理解 ・自己免疫疾患		松村 啓
15	試験		内部教員

テキスト	医学書院：人体の構造と機能〔1〕解剖生理学・成人看護学〔4〕血液・造血器、〔11〕アレルギー 膠原病 感染症		
参考書			
成績評価の方法	筆記試験 100点		
その他、受講生への要望など			

授業科目	疾病治療論Ⅳ		
担当者名	西川育利・門馬良明・倉地彩奈・関根麗子・金子達	実務経験	○
年次	1年次	学期	後期
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	解剖生理学の知識を基に、機能障害を引き起こす疾患を理解し、回復のための検査、診断、治療や看護の概要を学修する。		
授業科目の到達目標	1. 運動器に関連した疾患と検査、診断、治療について説明する。 2. 脳神経に関連した疾患と検査、診断、治療について説明する。 3. 感覚器に関連した疾患と検査、診断、治療について説明する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】運動器に関連した疾患と検査、診断、治療① ・患者の特徴・運動器の構造と機能 ・症状・検査・治療		関根 麗子
2	【講義】運動器に関連した疾患と検査、診断、治療② 疾患の理解・骨折		関根 麗子
3	【講義】運動器に関連した疾患と検査、診断、治療③ 疾患の理解・脊髄損傷		関根 麗子
4	【講義】運動器に関連した疾患と検査、診断、治療④ 疾患の理解・変形性関節症		関根 麗子
5	【講義】運動器に関連した疾患と検査、診断、治療⑤ 疾患の理解・関節リウマチ		関根 麗子
6	【講義】脳神経に関連した疾患と検査、診断、治療① ・患者の特徴・脳神経の構造と機能 ・症状・検査・治療		門馬 良明
7	【講義】脳神経に関連した疾患と検査、診断、治療② 疾患の理解 ・くも膜下出血・脳内出血・脳梗塞、		門馬 良明
8	【講義】脳神経に関連した疾患と検査、診断、治療③ 疾患の理解 ・ギランバレー症候群・ALS・筋ジストロフィー・重症筋無力症		門馬 良明
9	【講義】脳神経に関連した疾患と検査、診断、治療④ 疾患の理解 ・パーキンソン病・てんかん・アルツハイマー病		門馬 良明
10	【講義】脳神経に関連した疾患と検査、診断、治療⑤ 疾患の理解 ・脳腫瘍、多発性硬化症、		門馬 良明
11	【講義】感覚器に関連した疾患と検査、診断、治療（皮膚） 尋常性乾癬、熱傷、蜂窩織炎、带状疱疹		倉地 彩奈
12	【講義】感覚器に関連した疾患と検査、診断、治療（眼） 白内障、緑内障、眼底の疾患		関根 麗子
13	【講義】感覚器に関連した疾患と検査、診断、治療（耳鼻） 中耳炎、メニエール病、突発性難聴、喉頭がん、アレルギー性鼻炎、咽喉頭炎		金子 達
14	【講義】感覚器に関連した疾患と検査、診断、治療（歯） 齲蝕、歯肉炎、舌がん		西川 育利
15	試験		内部教員

テキスト	医学書院：人体の構造と機能〔1〕解剖生理学・成人看護学〔7〕脳・神経、〔10〕運動器、〔12〕皮膚、〔13〕眼、〔14〕耳鼻咽喉、〔15〕歯・口腔
参考書	
成績評価の方法	筆記試験 配点100点(運動器：40点、脳神経：40点、皮膚：5点、耳鼻：5点、眼：5点、口：5点)
その他、受講生への要望など	脳神経の解剖生理学を理解してください。（門馬） 人生で皮膚病にかからない人はいません。ぜひ「自分ごと」だと思ってイメージしながら学んでみてください。（倉地）

授業科目	社会福祉Ⅰ		
担当者名	伊藤 典子	実務経験	○
年次	1年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	15時間
授業科目の概要	少子高齢化社会を生きる社会人として、わが国の高齢者や児童、障害者等に対する社会福祉の仕組み（法・制度）と現状と合わせ、現在生じているさまざまな課題等について学修する。		
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉における基本的な考え方について説明する。 2. 社会福祉制度やしきみについて説明する。 3. 現在の社会問題について社会福祉の観点から考察できる。 		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】現代社会の変化		伊藤典子
2	【講義】社会保障・社会福祉の動向		伊藤典子
3	【講義】社会保障と社会福祉、社会福祉の歴史		伊藤典子
4	【講義】医療保障		伊藤典子
5	【講義】介護保障		伊藤典子
6	【講義】所得保障		伊藤典子
7	【講義】公的扶助		伊藤典子
8	【試験】		内部教員

テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度〔3〕社会保障・社会福祉 医学書院		
参考書	社会保障入門 中央法規・社会保障&関係法規2023 メディカ出版 他		
成績評価の方法	筆記試験 配点100点		
その他、受講生への要望など			

授業科目	看護学概論		
担当者名	会田 久美子	実務経験	○
年次	1年次	学期	前期
単位	2単位	時間数	30時間
授業科目の概要	看護学概論では、看護の本質、看護の役割・機能、看護の方法など、看護実践の基盤となる知識について学修する。また、看護の歴史的な変遷をたどりながら看護職の可能性と職務、倫理について学修する。		
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護の理念と役割について説明する。 2. 人間 環境 健康 看護の概念とそれぞれの相互関係について説明する。 3. 看護の歴史的変遷が分かり、現在の看護を取り巻く社会の動向を説明する。 4. 看護者としての倫理を理解し、自覚と責任を持つ姿勢を身に付ける。 5. 保健医療福祉システムと多職種連携の必要性について説明する。 6. 広がる看護の役割、活動領域について考える。 		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】看護を学ぶ 1. 看護の本質・看護の役割 2. 「看護覚え書」から対象を把握 3. 看護の独自性	事前「看護師のイメージ」「職業として看護師を選んだ理由」参考文献「看護覚え書き」「自身が目指す看護師」をまとめる	会田 久美子
2	【発表会】 1. 「職業として看護を選んだ理由」を発表	発表者12名1人5分 発表後6名1G GW	会田 久美子
3	【講義・演習】看護とは 1. 看護の本質 2. 看護の役割と機能	テキストP10～76熟読 グループワーク ワークシート	会田 久美子
4	【講義・演習】看護の対象理解① 1. ヒトの理解 2. 人間の理解(こころ)	テキストP78～106熟読 グループワーク ワークシート	会田 久美子
5	【講義・演習】看護の対象理解② 1. 人間にとっての健康とは 2. 障害とは何か	テキストP108～115熟読 グループワーク ワークシート	会田 久美子
6	【講義】看護の目的① 1. 欧・日の歴史(古代・中世・近代) 2. 看護の歴史と変遷	既習の歴史の学びの想起 年代を資料として準備	会田 久美子
7	【講義・演習】看護の目的② 1. ナイチンゲールから学ぶ看護 2. マザー・テレサから学ぶ看護	「看護覚え書」補章熟読 NHKアーカイブス 「あなたに会いたい」fileNO214 視聴	会田 久美子
8	【講義・演習】看護の目的③ 1. ナイチンゲール・マザー・テレサ双方からの学びの深化	グループワーク 「自身が目指す看護師」 レポート作成	会田 久美子
9	【講義】看護理論 1. 看護理論とは 2. ヴァージニア・ヘンダーソンの看護理論	看護の基本となるもの (資料配布)	会田 久美子
10	【講義】看護を提供する仕組み 1. 看護サービスの提供の場 2. 看護をめぐる制度と政策 3. 看護サービスの管理 4. 看護の就業状況と継続看護	テキストP162～183熟読	会田 久美子
11	【講義】看護倫理 1. 倫理を学ぶ意義 2. 看護倫理とは 3. 倫理的問題への取り組み インフォームドコンセント 4. 事例から倫理的問題を考える	映像などの事例から個人の考えをまとめ、グループワークをする グループワーク 課題レポート	会田 久美子
12	【講義】医療安全 1. 看護に関する法律 2. 看護業務の特性と医療事故	資料配布 GW ワークシート	会田久美子
13	【講義】広がる看護の活動領域 1. 国際化と看護 国際看護学 1)健康と保健医療の世界的課題 2)日本に在留する外国人の看護 2. 災害時における看護	テキストP306～350熟読 国内で最近発生した自然災害時に提供された看護活動を調べる GW	会田久美子

14	【講義】 保健医療福祉システムと多職種連携 1. 保健医療福祉の変遷 2. 保健医療福祉システム 3. 多職種チームとの連携・協働、情報の伝達、共有	看護職と共に医療サービスを提供する職種を考える 各々の職域をしる GW	会田久美子
15	【試験】 筆記試験		会田久美子

テキスト	系統看護学講座 専門分野 看護学概論 基礎看護学1 医学書院 看護覚え書 湯槇ます他 現代社 看護の基本となるもの 湯槇ます他 日本看護協会出版会
参考書	
成績評価の方法	筆記試験 ・ 課題レポート
その他、受講生への要望など	本学科は今後の専門基礎科目「基礎看護技術」「基礎看護学実習」の前提条件となります。 グループ活動においては自分の役割を自主的に見つけて遂行する行動を期待します。

授業科目	看護の基本技術Ⅰ		
担当者名	瀬畑仁美・金泉詳子	実務経験	○
年次	1年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	15時間
授業科目の概要	看護技術とは、看護の問題を解決するために、看護の対象となる人々の安全・安楽を保証しながら、看護の専門的知識に基づいて提供される技である。対象に応じた看護を行うためには、看護技術の"原理・原則"を理解することが重要となる。本科目では、看護技術とはなにかを考えるとともに、観察・記録・報告、コミュニケーション、感染予防、安全・安楽な生活環境を調整する基本的技術に焦点をあて学習する。		
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護技術とは何かがわかる。 2. 看護における観察・記録・報告の意義と目的を説明する。 3. 看護における相互作用とコミュニケーションの意義を理解し、効果的なコミュニケーションのための知識・技術・態度を説明する。 4. 感染標準予防策の基礎知識を理解し、正しく実践する。 5. 環境整備の基礎知識を理解し、安全・安楽な病床環境を調整する。 6. 事前学習を行い演習に臨み、自己の技術を振り返る。 		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義・演習】 1) 看護技術とはなにか、技術と技能 2) 看護技術の重要な要素 3) 看護技術を習得するために何をすべきか	事後：課題レポート	瀬畑 仁美
2	【講義・演習】 1) 看護における観察・記録・報告の意義と目的	事前：新版 ナイチンゲールの『看護覚え書』イラスト・図解でよくわかる！第13章を精読する。 事後：課題レポート	瀬畑 仁美
3	【講義・演習】 コミュニケーション① 1) コミュニケーションの意義と目的 2) 関係構築のためのコミュニケーションの基本	事前：ナーシングスキルを視聴する。講義内容に沿ったテキストの項目を精読する。	瀬畑 仁美
4	【講義・演習】 コミュニケーション② 1) 看護・医療におけるコミュニケーション 2) 効果的なコミュニケーションの実践	事後：ポストテスト、課題レポート	瀬畑 仁美
5	【講義・演習】 感染防止の技術① 1) 感染とその予防の基礎知識 2) スタンダードプリコーション 3) 手指衛生	事前：講義内容に沿ったテキストの項目を精読したうえで演習に参加する。ナーシングスキルを視聴する。 事後：ポストテスト	瀬畑 仁美
6	【演習・演習】 感染防止の技術② 1) 感染経路別予防策 2) 個人防護具の着脱 3) 感染性廃棄物の取り扱い	事前：講義内容に沿ったテキストの項目を精読したうえで演習に参加する。ナーシングスキルを視聴する。 事後：ポストテスト	瀬畑 仁美

7	【講義・演習】環境調整① 1) 生活環境を整える意義 2) 居住環境の諸要因と調整方法 3) 病室と病床の環境調整 4) 病床生活を構成する物品の安全な使用方法・点検・管理方法 ※患者誤認防止策含む	ナースィングスキル視聴 課題レポート	金泉 詳子
8	【演習】環境調整② 1) 療養者にとって快適な環境 2) 事例の患者に応じた療養環境の調整	ナースィングスキル視聴 課題レポート ポストテスト	金泉 詳子

テキスト	系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学2 医学書院 系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学3 医学書院 金井一薫編著 新版 ナイチンゲールの『看護覚え書』 イラスト・図解でよくわかる! 西東社		
参考書			
成績評価の方法	瀬畑：75点（ポストテスト・課題レポート）、金泉25点（ポストテスト・課題レポート） 課題レポートは、講義終了後に記載し指定された日時までに提出する。 提出期限が過ぎた場合は、評価の対象とならない。		
その他、受講生への要望など	<ul style="list-style-type: none"> ・当科目は看護を安全・安楽に行うための基本的な知識・技術・態度を身につけ、今後の看護技術につながるよう学びましょう。 ・「自己学習-グループ学習」を中心となります。事前学習をしたうえで演習では疑問点をグループメンバーと共にディスカッションし、教員に質問しながら学ぶアクティブラーニング型の学習システムです。 ・授業に際して事前学習課題ワークシートを配布するので、各自その内容を予習してから授業に臨んでください。 ・講義前には習得する看護技術に必要な物品、手順、根拠、留意点を踏まえながら、ナースィングスキル内の動画コンテンツや教科書付録動画を視聴し、課題ワークシートに取り組みましょう。 ・演習では、個々の事前学習を活用し、学生同士で話し合うことで学びを深め主体的なグループ学習を行いましょう。 ・ポストテストは単元ごとに、知識または技術を評価する内容で行われます。 		

授業科目	看護の基本技術Ⅱ		
担当者名	佐藤 宏子	実務経験	○
年次	1年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	看護技術とは、看護の問題を解決するために、看護の対象となる人々の安全・安楽を保証しながら、看護の専門的知識に基づいて提供される技である。対象に応じた看護を行うためには、看護技術の"原理・原則"を理解することが重要となる。本科目では、安全・安楽な生活行動（活動・休息）を調整する基本的技術に焦点をあて学習する。		
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 活動・休息の基礎知識を理解し、適切に実践する。 2. ベッドメイキング・リネン交換の基礎知識を理解し、適切に実践する。（演習で行う） 3. 寝衣交換の基礎知識を理解し、適切に実践する。 4. 事前学習を行い演習に臨み、自己の技術を振り返る。 		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義・演習】活動と休息① 1) 活動のアセスメント 看護コミュニケーションとボディメカニクス 2) 体位変換・保持 対象者の安全・安楽な活動を援助するための体位変換についてボディメカニクスを活用した方法	ナーシングスキル視聴 グループワーク 課題ワークシート	佐藤 宏子
2	【演習】活動と休息② 3) 歩行移動 4) 車いす移乗・移動 5) ストレッチャー 自然な立ち上がり動作・安全・安楽な移動・移送、歩行介助 ボディメカニクスを活用した方法	ナーシングスキル視聴 グループワーク 課題ワークシート ポストテスト	佐藤 宏子
3	【演習】活動と休息③ 1) 休息と睡眠の意義、影響する因子 2) 休息と睡眠を促す援助	ナーシングスキル視聴 グループワーク 課題ワークシート ポストテスト	佐藤 宏子
4	【講義・演習】ベッドメイキング① 1) 病床を構成する物品の安全な使用方法、管理方法 2) 基本的な病床を作成する目的	ナーシングスキル視聴 課題ワークシート グループワーク	佐藤 宏子
5	【演習】ベッドメイキング② 1) 基本的な病床の作成 リネン交換① 1) リネン交換の目的、方法		佐藤 宏子
6	【演習】リネン交換②	グループワーク 課題ワークシート ポストテスト	佐藤 宏子
7	【演習】臥床患者のリネン交換① 1) ベッド上に患者が臥床している状態でのリネン交換	ナーシングスキル視聴 グループワーク 課題ワークシート	佐藤 宏子
8	【演習】臥床患者のリネン交換② 2) ベッド上に患者が臥床している状態でのリネン交換		佐藤 宏子
9	【演習】臥床患者のリネン交換③	ナーシングスキル視聴 課題ワークシート ポストテスト	佐藤 宏子
10	【演習】臥床患者のリネン交換④		佐藤 宏子
11	【演習】寝衣交換① 1) 衣服を用いることの意味 2) 衣服のアセスメントの視点 3) 衣生活の援助 病床での衣生活の援助（グループワーク）	ナーシングスキル視聴 グループワーク 課題ワークシート	佐藤 宏子

12	【演習】寝衣交換② 1) 病衣・寝衣の交換 2) 点滴挿入患者、ドレーン挿入患者・麻痺患者の寝衣交換（グループワーク） 【講義】まとめ	ナーシングスキル視聴 グループワーク 課題ワークシート ポストテスト	佐藤 宏子
13	【演習】総合演習		佐藤 宏子
14	【試験】臥床患者のリネン交換技術の確認試験		佐藤 宏子
15	【試験】臥床患者のリネン交換技術の確認試験		佐藤 宏子

テキスト	系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学2 医学書院		
参考書			
成績評価の方法	<p>ポストテスト・技術試験・ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術確認試験が合格基準に達しなかった場合は、再試験を申し出る等、基準を達成できるよう努める。 ・技術確認試験は、個人の看護技術の完成度を評価する。 ・課題ワークシートは、最終講義後に記載し指定された日時までに提出する。提出期限が過ぎた場合は、評価の対象とされない。 		
その他、受講生への要望など	<ul style="list-style-type: none"> ・当科目は看護を安全・安楽に行うための基本的な知識・技術・態度を身につけ、今後の看護技術につながるよう学びましょう。 ・「自己学習-グループ学習」を中心となります。事前学習をしたうえで演習に臨み、気づきや疑問点をグループメンバーと共にディスカッションし、教員に質問しながら学ぶアクティブラーニング型の学習システムです。 ・授業に際してワークシートを事前に配布するので、課題には事前に取り組み予習してから授業に臨んでください。 ・講義前には習得する看護技術に必要な物品、手順、根拠、留意点を踏まえながら、ナーシングスキル内の動画コンテンツや教科書付録動画を視聴し、課題ワークシートに取り組みましょう。 ・演習では、個々の事前学習を活用し、学生同士で話し合うことで学びを深め主体的なグループ学習を行いましょう。また、患者役と看護師役を体験しながら技術を習得します。単なる「真似」にならないように、なぜそうするのかという理由や根拠、行う意図を自分自身で考えましょう。 ・ポストテストは単元ごとに、知識または技術を評価する内容で行われます。 ・事前学習では課題ワークシートとは別に、各自がマイノート（タブレット端末でも可）に学習内容や疑問をまとめておくとよいでしょう。 ・技術確認試験は、清潔技術に関する知識・手順を確認するものです。演習や講義の復習を充分に行って臨みましょう。 		

授業科目	看護の基本技術Ⅲ		
担当者名	小堀 明美・猪爪 房代	実務経験	○
年次	1年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	看護技術とは、看護の問題を解決するために、看護の対象となる人々の安全・安楽を保証しながら、看護の専門的知識に基づいて提供される技である。対象に応じた看護を行うためには、看護技術の"原理・原則"を理解することが重要となる。本科目では、バイタルサインの測定、清潔援助の基本的技術に焦点をあて学修する。		
授業科目の到達目標	1. バイタルサインの測定を正確に行う。 2. 清潔援助の基礎知識を理解し、演習で行う。(適切に実践する) 3. 事前学習を行い演習に臨み、自己の技術を振り返る。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義・演習】バイタルサイン① 1) バイタルサインの意義、目的 2) 循環(脈拍・血圧)、体温、呼吸、血圧、呼吸の測定 意識の確認	ナーシングスキル視聴 課題ワークシート グループワーク ポストテスト	小堀 明美
2	【演習】バイタルサイン② バイタルサイン測定の実施	個人ワークシート 技術評価表	小堀 明美
3	【試験】バイタルサイン③ 測定技術の確認試験 【講義】まとめ		小堀 明美
4	【講義・演習】清潔とは 1) 清潔援助の基礎知識 清潔の意義、目的 2) 清潔援助の実際 3) 清潔援助の基礎知識 入浴・シャワー浴、清拭・部分浴	ナーシングスキル視聴 課題ワークシート グループワーク	猪爪 房代
5	【演習】清拭② 入浴とシャワー浴、清拭、どれが血流促進することができるのか	ナーシングスキル視聴 課題ワークシート ポストテスト	猪爪 房代
6	【演習】清拭③ 体験を通して、対象の思いを知り、環境を整えることができる		猪爪 房代
7	【演習】手浴・足浴① 血流促進を行ったりリラックスするための体位がわかる 対象に合わせた手浴・足浴の援助方法がわかる	ナーシングスキル視聴 課題ワークシート グループワーク ポストテスト	猪爪 房代
8			
9	【演習】洗髪① 汚れを取り除き、皮膚の正常化を促すための洗浄方法がわかる 対象に合わせた安楽で、安全な姿勢で洗髪できる	ナーシングスキル視聴 グループワーク 課題ワークシート ポストテスト	猪爪 房代
10			猪爪 房代
11	【演習】陰部洗浄① 感染のメカニズムについて 陰部を清潔に保つための工夫がわかる 羞恥心に配慮した援助とは何か、解決方法を見つけることができる	ナーシングスキル視聴 グループワーク 課題ワークシート ポストテスト	猪爪 房代
12			猪爪 房代
13	【演習】清潔技術の練習		猪爪 房代
14	【試験】清潔技術の確認試験		猪爪 房代
15	【試験】清潔技術の確認試験		

テキスト	系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ 基礎看護学Ⅱ・Ⅲ 医学書院
参考書	

成績評価の方法	<p>ポストテスト・課題ワークシート・技術確認試験（バイタルサイン測定・清潔）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術確認試験が合格基準に達しなかった場合は、再試験を申し出る等基準を達成できるよう努める。 ・技術確認試験は個人の看護技術の完成度を評価する。 ・課題ワークシートは指定された日時までに提出する。 ・提出期限が過ぎた場合は、評価の対象とならない。
その他、受講生への要望など	<ul style="list-style-type: none"> ・人体の構造と機能、基礎看護技術ⅠおよびⅡの知識・技術を基盤にして演習を行います。 ・当科目は看護を安全・安楽に行うための基本的な知識・技術・態度を身につけ、今後の看護技術につながるように学びましょう。 ・「自己学習-グループ学習」を中心となります。事前学習をしたうえで演習に臨み、気づきや疑問点をグループメンバーと共にディスカッションし、教員に質問しながら学ぶアクティブラーニング型の学習システムです。 ・授業に際して事前学習課題ワークシートを配布するので、各自その内容を予習してから授業に臨んでください。 ・講義前には習得する看護技術に必要な物品、手順、根拠、留意点を踏まえながら、ナーシングスキル内の動画コンテンツや教科書付録動画を視聴し、課題ワークシートに取り組みましょう。 ・演習では、個々の事前学習を活用し、学生同士で話し合うことで学びを深め主体的なグループ学習を行いましょう。また、モデル人形を用いたり、患者役と看護師役を体験しながら技術を習得します。単なる「真似」にならないように、なぜそうするのかという理由や根拠、行う意図を自分自身で考えましょう。 ・ポストテストは単元ごとに知識または技術を評価する内容で行われます。 ・事前学習では課題ワークシートとは別に、各自がマイノート（タブレット端末でも可）に学習内容や疑問をまとめておくとういでしょう。 ・技術確認試験は、清潔技術に関する知識・手順を確認するものです。演習や講義の復習を充分に行って臨みましょう。

授業科目	看護の基本技術Ⅳ		
担当者名	星 有希子	実務経験	○
年次	1年次	学期	後期
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	看護技術とは、看護の問題を解決するために、看護の対象となる人々の安全・安楽を保証しながら、看護の専門的知識に基づいて提供される技である。対象に応じた看護を行うためには、看護技術の"原理・原則"を理解することが重要となる。本科目では、食事・排泄援助の基本的技術に焦点をあて学修する。		
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 食事援助技術の基礎知識を理解し、適切に実践する。 2. 排泄援助技術の基礎知識を理解し、適切に実践する。 3. 自然な排泄が困難な患者に対し、基礎知識を説明し技術を実践する。 4. 事前学習を行い演習に臨み、自己の技術を振り返る。 		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義・演習】 食事援助の基礎知識 1) 食事、栄養補給、水分補給の意義 2) 栄養状態のアセスメント 3) 食事摂取の介助①	ナーシングスキル視聴 課題ワークシート グループワーク ポストテスト	星 有希子
2	【演習】 1) 食事摂取の介助② 2) 口腔ケア援助の方法とアセスメント		星 有希子
3	【演習】 口腔ケア援助の方法とアセスメント 1) 臥床患者の口腔ケア		星 有希子
4	【講義・演習】 非経口的栄養摂取の援助 1) 口から食べることとの違い 2) 経管栄養法の方法とアセスメント 【演習】 経管栄養（経鼻胃チューブの挿入・経管栄養法による流動食の注入） 【講義】 まとめ	ナーシングスキル視聴 グループワーク 課題ワークシート ポストテスト	星 有希子
5	【講義・演習】 排泄の援助技術 1) 排泄器官と機能、メカニズム 2) 排泄のアセスメント 3) 尿器・便器・ポータブルトイレ介助①	ナーシングスキル視聴 課題ワークシート ポストテスト	星 有希子
6	【講義・演習】 尿器・便器・ポータブルトイレ介助②		星 有希子
7	【講義・演習】 排泄介助① 1) 援助の基礎知識	ナーシングスキル視聴 グループワーク 課題ワークシート ポストテスト	星 有希子
8	【講義・演習】 排泄介助②		星 有希子
9	【講義・演習】 洗腸① グリセリン洗腸	ナーシングスキル視聴 グループワーク 課題ワークシート	星 有希子
10	【講義・演習】 洗腸② グリセリン洗腸		星 有希子
11	【講義・演習】 導尿① 導尿（一時的導尿）	ナーシングスキル視聴 グループワーク 課題ワークシート ポストテスト	星 有希子
12	【講義・演習】 導尿② 導尿（一時的導尿）・持続的導尿 【講義】 まとめ		星 有希子
13	【演習】 総合練習		星 有希子
14	【試験】 排泄の技術確認試験		星 有希子

15	【試験】排泄の技術確認試験		星 有希子
----	---------------	--	-------

テキスト	系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学3 医学書院		
参考書			
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ポストテスト・課題ワークシート・技術試験 ・技術確認試験は個人の看護技術の完成度を評価する。 ・技術確認試験が合格基準に達しなかった場合は、再試験を申し出る等、基準を達成できるよう努める。 ・課題ワークシートは、最終講義後に記載し指定された日時までに提出する。 ・提出期限を過ぎた場合は、評価の対象とならない。 		
その他、受講生への要望など	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎看護技術Ⅰ～Ⅲの知識・技術を基盤に、臨床でよく行われる技術について学習します。安全・安楽に行うための基本的な知識・技術・態度を身につけ、今後の看護技術につながるよう学びましょう。 「自己学習-グループ学習」を中心となります。事前学習をしたうえで演習に臨み、気づきや疑問点をグループメンバーと共にディスカッションし、教員に質問しながら学ぶアクティブラーニング型の学習システムです。 ・授業に際して事前学習課題ワークシート等を配布するので、各自その内容を予習してから授業に臨んでください。 ・講義前には習得する看護技術に必要な物品、手順、根拠、留意点を踏まえながら、ナースングスキル内の動画コンテンツ・教科書付録動画を視聴し課題ワークシートに取り組みましょう。 ・演習ではモデル人形を用いたり、患者役と看護師役を体験しながら技術を習得します。安全な技術を習得し、看護師の役割について学びましょう。単なる「真似」にならないように、なぜそうするのかという理由や根拠、行う意図を自分自身で考えましょう。 ・演習では、個々の事前学習を活用し学生同士で話し合うことで学びを深め主体的なグループ学習を行いましょう。 ・ポストテストは単元ごとに、知識または技術を評価する内容で行われます。 ・事前学習では課題ワークシートとは別に、各自がマイノート（タブレット端末でも可）に学習内容や疑問をまとめておくといでしょう。 ・術確認試験は、清潔技術に関する知識・手順を確認するものです。演習や講義の復習を充分に行って臨みましょう。 		

授業科目	看護の基本技術V		
担当者名	金泉 詳子・星有希子・佐藤宏子	実務経験	○
年次	1年次	学期	後期
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	本科目では、診療の補助にかかわる看護の基本技術について医療安全の視点から理解し、治療や検査を受けながら生活している対象の日常生活行動を理解する。本科目では科学的根拠に基づいた基本となる診療の補助技術を学修する。		
授業科目の到達目標	1. 感染予防の基礎知識を理解し、正確に実践する。 2. 呼吸を安楽にする技術を実践する。 3. 循環を整える技術を実践する。 4. 薬物療法の基礎知識を理解し、安全で安楽な点滴・注射を実践する。 5. 採血の基礎知識を理解し、安全で安楽な採血を実施する。 6. 患者情報をアセスメントし、健康状態および日常生活行動を評価、援助を実践する。 7. 事前学習を行い演習に臨み、自己の技術を振り返る。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】 感染防止の技術 洗浄・消毒・滅菌 【演習】 無菌操作① ・滅菌手袋の装着 ・滅菌ガウンの着用 ガウンテクニック	ナースィングスキル視聴 課題レポート グループワークシート	金泉 詳子
2	【演習】 無菌操作② 滅菌物の取り扱い 感染性廃棄物の取り扱い 【講義】 医療施設における感染管理	ナースィングスキル視聴 課題レポート グループワークシート ポストテスト	金泉 詳子
3	【講義】 創傷処置 創部の消毒 清潔操作の方法 創部の保護 ・縫合、創洗浄	ナースィングスキル視聴 課題レポート ポストテスト	金泉 詳子
4	【演習】 創傷処置 創部の消毒 清潔操作の方法 創部の保護 創保護 包帯法 【講義】 まとめ	グループワークシート	金泉 詳子
5	【演習】 呼吸・循環を整える技術① ・酸素療法 酸素吸入 中央配管方式、酸素ポンプ法 ・排痰ケア ネブライザー・口腔内、鼻腔内吸引、気管内吸引 ・体位ドレナージ	ナースィングスキル視聴 グループワーク 課題ワークシート ポストテスト	金泉 詳子
6	【演習】 呼吸・循環を整える技術② ・体温調整の援助 温罨法-冷罨法 ・末梢循環促進ケア 【講義】 まとめ		金泉 詳子
7	【講義・演習】 与薬の技術① 1) 薬剤等の管理（毒薬・劇薬・麻薬・血液製剤・抗悪性腫瘍薬）・経口薬 2) 薬剤の投与方法、留意点 3) 人体へのリスクの大きい薬剤のばく露予防策	ナースィングスキル視聴 グループワーク 課題ワークシート ポストテスト	星 有希子
8	【演習】 与薬の技術② 皮下注射・点滴静脈内注射・筋肉注射	ナースィングスキル視聴 課題ワークシート	星 有希子
9	【演習】 与薬の技術③ 皮下注射・点滴静脈内注射・筋肉注射	ポストテスト	星 有希子
10	【講義・演習】 輸血の管理 輸血の取り扱い	ナースィングスキル視聴 グループワーク 課題ワークシート ポストテスト	星 有希子
11	【講義・演習】 点滴静脈内点滴の管理		星 有希子
12	【技術試験】 総合技術試験		佐藤 宏子
13	【技術試験】 総合技術試験		佐藤 宏子

14	【技術試験】総合技術試験		佐藤 宏子
15	【技術試験】総合技術試験		佐藤 宏子

テキスト	系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学Ⅲ 医学書院		
参考書			
成績評価の方法	<p>ポストテスト・課題ワークシート・総合技術試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題ワークシートは、最終講義後に記載し指定された日時までに提出する。 ・提出期限を過ぎた場合は、評価の対象とならない。 ・総合技術試験は基礎看護技術Ⅰ～Ⅳの知識・技術を基盤とし、事前に提示された事例から状況に応じて複数の看護援助を実践し、個人の看護技術の完成度を評価する。既習の看護技術を復習し練習を行い臨むこと。 ・技術試験が合格基準に達しなかった場合は、再試験を申し出る等、基準を達成できるよう努める。 		
その他、受講生への要望など	<ul style="list-style-type: none"> ・「自己学習-グループ学習」を中心とし、事前学習をしたうえで演習に臨み、気づきや疑問点をグループメンバーと共にディスカッションし、教員に質問しながら学ぶアクティブラーニング型の学習システムです。 ・講義前には習得する看護技術に必要な物品、手順、根拠、留意点を踏まえながら、ナーシングスキル内の動画コンテンツ・教科書付録動画を視聴しましょう。 ・演習では学生同士で患者役と看護師役を体験したり、モデル人形を用いながら安全な技術、看護師の役割について学びましょう。また、単なる「真似」にならないように「なぜそうするのか」という理由や根拠、行う意図を自分自身で考えましょう。 ・授業に際して事前学習課題ワークシートを配布するので、各自その内容を予習してから授業に臨んでください。 ・事前学習では、各自がマイノート（タブレット端末でも可）に学習内容や疑問をまとめて多くとよいでしょう。 ・総合技術試験は基礎看護技術Ⅰ～Ⅳの知識・技術を基盤とし、科学的根拠に基づいた診断・治療に伴う基礎的な補助技術について学習します。事前に提示された事例から、状況に応じて複数の看護援助を実践していただきます。既習の看護技術を復習し練習を行い臨みましょう。 ・ポストテストは單元ごとに知識または技術を評価する内容で行われます。 		

授業科目	看護の基本技術VI		
担当者名	阿部 未映子	実務経験	○
年次	1年次	学期	後期
単位	2単位	時間数	30時間
授業科目の概要	看護過程とは、健康上支援を必要とする対象との相互作用に基づき、看護上の問題を解決する過程である。アセスメント・看護問題の成文化・計画立案・実施・評価、これらの5つプロセスを学ぶことで、根拠ある看護を実践する方法を学習する。		
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護過程の構成要素の意義と展開方法が理解できる。 2. 対象の全体像を把握するために必要な情報が理解できる。 3. 対象の状態をアセスメントできる。 4. アセスメントから看護問題を抽出し、安全、安楽、自立に配慮した計画を立案することができる。 5. 十分な証拠が得られるまで、自分の判断に疑問を持ち続け、文献を活用しながら様々な視点で考えることができる。 6. 自己のアセスメントや計画をリフレクションすることができる。 		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義・演習】看護過程の5つの構成要素	課題レポート	内部教員
2	【講義・演習】看護過程を展開する際に基盤となる考え方 ①問題解決過程 ②クリティカルシンキング ③リフレクション	事前課題：看護過程	阿部 未映子
3	【講義・演習】看護過程の各段階① ①アセスメント	事前課題：アセスメント	阿部 未映子
4	【講義・演習】看護過程の各段階② ①看護問題の明確化 ②計画立案③実施④評価	事前課題：看護計画 ポストテスト：20点	阿部 未映子
5	【講義】臨床判断 ①気づき ②解釈する ③反応する ④省察する	事前課題：臨床判断	阿部 未映子
6	【講義・演習】看護過程の展開①事例 シミュレーション：実習初日	事後レポート：事例展開	阿部 未映子
7	【講義・演習】看護過程の展開②事例 シミュレーション：実習2日目 情報収集①	事後レポート：事例展開	阿部 未映子
8	【講義・演習】看護過程の展開③事例 シミュレーション：実習2日目 アセスメント①	事後レポート：事例展開	阿部 未映子
9	【講義・演習】看護過程の展開④事例 シミュレーション：実習3～4日目 情報収集②アセスメント②	事後レポート：事例展開	阿部 未映子
10	【講義・演習】看護過程の展開⑤事例 シミュレーション：実習5日 看護問題 優先順位	事後レポート：事例展開	阿部 未映子
11	【講義・演習】看護過程の展開⑥事例 シミュレーション：実習2週目 看護計画立案	事後レポート：事例展開	阿部 未映子
12	【講義・演習】看護過程の展開⑦事例 シミュレーション：実習2週目 看護計画実施・評価・修正①	事後レポート：事例展開	阿部 未映子
13	【講義・演習】看護過程の展開⑧事例 シミュレーション：実習2週目 看護計画実施・評価・修正②	事後レポート：事例展開	阿部 未映子
14	【演習】臨床判断① ①気づき ②解釈する ③反応する ④省察する	事後レポート：リフレクション	阿部 未映子
15	【演習】臨床判断② ①気づき ②解釈する ③反応する ④省察する	事後レポート：リフレクション ポストテスト：10点	阿部 未映子

テキスト	系統看護学講座 基礎分野 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学Ⅱ 医学書院
参考書	看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践 スーヴェルヒロカワ
成績評価の方法	レポート課題：配点70点（ループリック）・ポストレポート：配点30点
その他、受講生への要望など	グループで協力しながら、臨地実習で実践する看護過程の展開を学びます。事前学習、事後レポートに取り組みながら一緒に看護を学んでいきましょう。

授業科目	フィジカルアセスメント		
担当者名	関根 麗子	実務経験	○
年次	1年次	学期	後期
単位	1単位	時間数	15時間
授業科目の概要	<p>本科目では、対象の健康問題を把握するために必要な技術であるフィジカルアセスメントについて学修する。</p> <p>各発達段階の特徴を理解し、人体の構造と機能に基づく系統的フィジカルイグザミネーションについてシミュレーターや学生同士で演習を行い学修する。さらに、フィジカルイグザミネーションを通して得た情報を分析し、対象の状態を判断・予測する過程を学修する。</p>		
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. フィジカルアセスメントの意義と目的を説明する。 2. フィジカルアセスメントに必要な共通技術（問診、視診、聴診、触診、打診）を説明する。 3. 器官系統別のフィジカルイグザミネーションを実施する。 		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】オリエンテーション・医療面接・身体診察（視診、触診、聴診、打診）・身体計測の基本	ナーシングスキル視聴 課題レポート	関根 麗子
2	【講義・演習】呼吸器系のフィジカルアセスメント 呼吸機能の仕組みとアセスメント技術 呼吸音の聴取	ナーシングスキル視聴 課題レポート	関根 麗子
3	【講義・演習】循環器系のフィジカルアセスメント 循環機能の仕組みとアセスメント技術 心音の聴取	ナーシングスキル視聴 課題レポート	関根 麗子
4	【講義・演習】感覚器・脳神経系のフィジカルアセスメント	ナーシングスキル視聴 課題レポート	関根 麗子
5	【講義・演習】筋骨格系のフィジカルアセスメント	ナーシングスキル視聴 課題レポート	関根 麗子
6	【講義・演習】栄養状態の評価 外皮・粘膜のフィジカルアセスメント	ナーシングスキル視聴 課題レポート	関根 麗子
7	【講義・演習】腹部のフィジカルアセスメント 事例を用いて、腹部消化機能のアセスメント	ナーシングスキル視聴 課題レポート	関根 麗子
8	【試験】 筆記試験		内部教員

テキスト	系統看護学講座 専門分野 看護技術Ⅰ 基礎看護学Ⅱ 医学書院		
参考書	熊谷たまきほか監修 「フィジカルアセスメントが見える」 メディックメディア		
成績評価の方法	<p>筆記試験・課題ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題ワークシートは指定された日時までに提出する。 ・提出期限が過ぎた場合は、評価の対象とならない。 		
その他、受講生への要望など	<ul style="list-style-type: none"> ・フィジカルアセスメントは、患者の身体状況を理解し、臨地実習時には必ず実施する重要な技術です。「正常」「正常から逸脱した状態」を根拠に基づいて判断できるようになるための知識・技術・態度を習得しましょう。 ・「自己学習-グループ学習」を中心とし、事前学習をしたうえで演習に臨み、気づきや疑問点をグループメンバーと共にディスカッションし、教員に質問しながら学ぶアクティブラーニング型の学習システムです。 ・講義前には解剖生理学の復習や習得する看護技術に必要な物品、手順、根拠、留意点を踏まえながら、ナーシングスキル内の動画コンテンツ・教科書付録動画を視聴しましょう。 		

授業科目	基礎看護学実習Ⅰ（地域で暮らす人々とのコミュニケーション実習）		
担当者名	佐藤 宏子	実務経験	○
年次	1年次	学期	前期（5月）
単位	1単位	時間数	30時間（6時間×5日）
授業科目の概要	対象と関係を構築するためのコミュニケーションの基礎を学ぶ。		
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 施設の概要がわかる。 2. 対象に合わせたコミュニケーションの方法を説明する。 3. 対象の反応を捉え、対象を尊重したコミュニケーションがとれる。 4. 対象とコミュニケーションを振り返り、よりよい方法を考察する。 5. 看護学生としてふさわしい態度で実習に臨み、積極的に行動する。 		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【学内】：オリエンテーション、事前学習	実習要項に準じる	佐藤 宏子
2	【施設】：施設のオリエンテーション、 スタッフと対象とのコミュニケーションの場面の見学	実習要項に準じる	佐藤 宏子
3	【施設】：対象者とのコミュニケーション、	実習要項に準じる	佐藤 宏子
4	【施設】：対象者とのコミュニケーション、振り返り（実習での学び）	実習要項に準じる	佐藤 宏子
5	【学内】：実習報告会	実習要項に準じる	佐藤 宏子

テキスト	特に指定しない
参考書	臨地実習ガイド
成績評価の方法	実習評価表に準じる
その他、受講生への 要望など	看護学実習は、それまでに学んだことを看護実践（体験）をとおして理解する科目です。基礎看護学実習Ⅰは、看護学生として初めて行う実習です。対象者とのかかわりを通して、コミュニケーションについて学びましょう。実習において看護学生として必要な倫理的態度について理解し行動しましょう。

授業科目	基礎看護実習Ⅱ（患者とのコミュニケーション実習）		
担当者名	佐藤 宏子	実務経験	○
年次	1年次	学期	後期（9月）
単位	1単位	時間数	30時間（6時間×5日）
授業科目の概要	実習施設の特徴や患者のおかれている療養環境を考える。また、看護実践を通して自己の姿勢を振り返り、看護者としての基礎的能力を養う。		
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 病院の機能や従事する医療者の職種と役割について理解できる。 2. 対象の入院生活の実際と療養生活を送る営優愛の思いを知る。 3. 既習の基礎看護技術を用いて、患者にとって安全で安楽な日常生活を実施する。 4. 看護学生として自覚と責任を持ち行動できる。 		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【学内】オリエンテーション、事前学習、技術練習	実習要項に準じる	佐藤宏子
2	【病院】病院・病棟オリエンテーション、多職種・看護師が働く場の見学 病院・病棟の療養環境観察	実習要項に準じる	佐藤宏子
3	【病棟】看護師の援助やコミュニケーションの場面見学（かるがも実習） 受け持ち患者とのコミュニケーション	実習要項に準じる	佐藤宏子
4	【病棟】受け持ち患者とのコミュニケーション 受け持ち患者への日常生活援助の実施	実習要項に準じる	佐藤宏子
5	【学内】実習報告会	実習要項に準じる	佐藤宏子

テキスト	特に指定しない
参考書	
成績評価の方法	実習評価表に準じる
その他、受講生への要望など	健康障害を持つ対象とかがわかる初めての实習です。療養環境が対象にどのような影響を及ぼすのか考えていきましょう。既習の看護技術をつかって受け持ち患者に援助も行います。事前の学習や練習を行い臨みましょう。実習期間が短いので、心身の自己管理に努め欠席することのないように臨んでください。

授業科目	地域・在宅看護概論		
担当者名	伊藤しほり	実務経験	○
年次	1年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	15時間
授業科目の概要	看護の対象を生活者として理解し看護の実践につなげていくためには、まず人々の暮らしおよび暮らしの基盤である地域について学ぶ必要がある。そこでこの科目では、暮らしとはなにか、暮らしと健康、地域特性と健康について学修する。		
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護の対象を生活者として理解し、その暮らしと健康の関係について説明する。 2. それぞれの地域は様々な特徴をもつことを学び、地域のとらえ方を理解する。 3. 地域・在宅看護とはどのような看護か、また求められる役割について説明する。 		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義・演習】人々の暮らしの理解	[事前] テキスト第1章 P12～22を読む 演習1 P25 ワークシート1 ワーク1・2 [事後] ワークシート1 ワーク3～5	伊藤しほり
2	【講義・演習】暮らしの基盤としての地域の理解 自分の暮らす地域と学校周囲の地域の特性の理解	[事前] 演習2 P52 ワークシート1 ワーク1	伊藤しほり
3	【講義・演習】グループワーク	[事前] 演習2 P53 ワークシート1 ワーク3 収集したデータ	伊藤しほり
4	【講義・演習】グループワーク（地域資源マップ作成）		伊藤しほり
5	【講義・演習】発表	[事前] 演習2 P54 ワークシート2 ワーク1・3 地域資源マップ まとめ	伊藤しほり
6	【講義・演習】学校の所在する地域を知る（地区踏査） 妊婦・高齢者体験スーツを着用してまち歩き		伊藤しほり
7	【講義・演習】発表準備		伊藤しほり
8	【講義・演習】発表・まとめ 地域・在宅看護とはどのような看護か、また求められる役割	[事前] 地区踏査資料 [事後]レポート 地域・在宅看護とは どのような看護か、求められる役割	伊藤しほり

テキスト	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論〔1〕地域・在宅看護の基盤（第1章） 医学書院		
参考書	基礎からわかる地域・在宅看護論 プチナース 照林社		
成績評価の方法	課題（80％）・グループ発表、態度（20％） 課題については指定された期日に提出されない場合、0点となります。		
その他、受講生への要望など	入学して間もなくなかなかグループワークに戸惑いもあるかもしれませんが、お互い協力し合いながら自らも主体的・積極的に取り組んでほしいと思います。		

授業科目	地域・在宅看護支援論Ⅰ		
担当者名	伊藤 しまり 渡邊 カヨ子 社会福祉法人ふれあいコープ看護師 宇都宮市出前講座	実務経験	○
年次	1年次	学期	後期
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	暮らしの基盤としての地域、地域・在宅看護の対象者の各ライフステージの特徴とその多様性を理解し、地域における暮らしを支える看護について学ぶ。		
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域・在宅看護概論で学修した人々の暮らしや地域の理解を踏まえ、地域包括ケアシステム、地域共生社会について説明する。 2. 地域でどのような自助・互助・共助・公助が行われているかを説明する。 3. 地域・在宅看護の対象者の各ライフステージの特徴とその多様性を理解し、ライフステージに応じた看護の役割を説明する。 4. 地域・在宅看護の対象者は様々な健康レベルにあることを説明する。 5. 地域・在宅看護の対象である家族について説明する。 6. 地域に暮らす人々とその家族の多様な健康ニーズと、看護の役割を説明する。 7. 暮らしにおける環境の重要性や意味を理解し、環境を整える地域・在宅看護の役割を説明する。 8. 暮らしの中にあるリスクについて理解し、災害対策における地域・在宅看護の役割を説明する。 9. さまざまな暮らしの場における看護の役割と活動について説明する。 10. さまざまな暮らしの場における多職種とその役割を理解し、多職種と連携・協働するなかで、看護師に求められる役割を考える。 		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義・演習】暮らしの基盤としての地域の理解 暮らしと地域、暮らしと地域を理解するための考え方		伊藤 しまり
2	【講義・演習】暮らしの基盤としての地域の理解 地域包括ケアシステムと地域共生社会（活動の実際）		看護師 渡邊 カヨ子
3	【講義・演習】暮らしの基盤としての地域の理解 地域包括ケアシステムと地域共生社会（活動の実際）		社会福祉法人ふれ あいコープ
4	【講義・演習】地域・在宅看護の対象 地域による多様性、ライフステージによる多様性、健康レベルの多様性		伊藤 しまり
5	【講義・演習】地域・在宅看護の対象 地域による多様性、ライフステージによる多様性、健康レベルの多様性		伊藤 しまり
6	【講義・演習】地域・在宅看護の対象者：家族の理解	[事前課題] 演習3 P96 ワークシート1	伊藤 しまり
7	【講義・演習】地域・在宅看護の対象者：家族の理解	[事前課題] 演習3 P98 ワークシート2	伊藤 しまり
8	【講義・演習】地域における暮らしを支える看護 (暮らしを支える地域・在宅看護、暮らしの環境を整える看護、広がる看護の対象と提供方法)		伊藤 しまり
9	【講義・演習】地域における暮らしを支える看護 (地域における家族への看護、地域におけるライフステージに応じた看護)		伊藤 しまり
10	【講義・演習】地域での暮らしにおけるリスクの理解		伊藤 しまり
11	【講義・演習】地域での暮らしにおける災害対策 宇都宮市の防災、マイタイムラインでの避難の作戦づくり	[事後課題] マイタイムライン	外部講師 宇都宮市出前 講座
12	【講義・演習】地域・在宅看護実践の場と連携		伊藤 しまり

13	【講義・演習】 地域・在宅看護実践の場と連携		伊藤 しほり
14	【講義・演習】 地域・在宅看護実践の場と連携 多職種との連携・協働		伊藤 しほり
15	【試験】		伊藤 しほり

テキスト	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論〔1〕 地域・在宅看護の基盤（第2章～5章） 医学書院		
参考書	基礎からわかる地域・在宅看護論 プチナース 照林社 国民衛生の動向・厚生指標 一般財団法人 厚生労働統計協会		
成績評価の方法	筆記試験（60％）・課題（40％）		
その他、受講生への要望など	実際に地域・在宅で働かれている外部講師をお招きしての講義・演習があります。対象者や家族とどんな関わりをされているのか、どんな看護実践の場でサポートされているのかよく学習して欲しいと思います。		

授業科目	成人看護学概論		
担当者名	金泉 詳子	実務経験	○
年次	1年次	学期	後期
単位	1単位	時間数	15時間
授業科目の概要	成人とその家族を対象とし、健康を維持・促進するための看護支援の基本となる知識を学修する。		
授業科目の到達目標	1. 発達段階や生活などの様々な側面から成人を説明する。 2. 成人のヘルスプロモーションを説明する。 3. 成人の急性期・回復期・慢性期・終末期の特徴と看護支援を説明する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義・演習】オリエンテーション 成人の理解：発達段階の特徴、成人の特徴、生活と健康	テキストの該当部分 を読んてくる	金泉 詳子
2	【講義・演習】成人への看護支援：アンドラゴジー、エンパワメント、自己効力感	テキストの該当部分 を読んてくる	金泉 詳子
3	【講義・演習】成人への看護支援：集団への看護アプローチ、意思決定支援、倫理的課題	テキストの該当部分 を読んてくる	金泉 詳子
4	【講義・演習】成人のヘルスプロモーションと看護	テキストの該当部分 を読んてくる	金泉 詳子
5	【講義・演習】急性期・回復期（リハビリテーション期）にある成人とその家族を支援する看護	テキストの該当部分 を読んてくる	金泉 詳子
6	【講義・演習】慢性期・終末期にある成人とその家族を支援する看護	テキストの該当部分 を読んてくる	金泉 詳子
7	【講義・演習】緩和ケア	テキストの該当部分 を読んてくる	金泉 詳子
8	試験		金泉 詳子

テキスト	医学書院 系統看護学講座 成人看護学総論
参考書	必要時随時提示する
成績評価の方法	筆記試験（80％）、演習の成果物・レポート・ポストテストなど（20％）
その他、受講生への要望など	演習では、事前学習で自分の意見をまとめておき、積極的にグループワークに参加してください。

授業科目	老年看護概論		
担当者名	瀬畑仁美・諏訪陽子・北岡吉民・千嶋 巖	実務経験	○
年次	1年次	学期	後期
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	老年看護の対象である高齢者を理解するために、加齢変化の特徴や高齢者を取り巻く環境、老年期における倫理的課題について学習し、老年看護への関心を高める。また、高齢者に多くみられる主要な症候・疾患および、治療の場から療養生活の場、エンドオブライフケアまで、幅広い視野をもって看護を考える。		
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 加齢に伴う身体的、心理・社会的側面の特徴を説明する。 2. 高齢者を取り巻く環境について説明する。 3. 高齢者に関連する社会制度について説明する。 4. 多様な場で展開する高齢者および家族への看護を説明する。 5. 自らの高齢者観や倫理観を振り返り、考察できる。 6. 高齢者のヘルスプロモーションについて説明する。 7. 老年症候群および高齢者に特有な症候・疾患について説明する。 8. 治療を必要とする高齢者の看護について説明する。 9. 高齢者の在宅医療とエンドオブライフケアについて説明する。 10. 老年看護の役割について、自分の言葉で説明する。 		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】老年期の発達と変化 ・ライフサイクルからみた高齢者 ・加齢と老化 ・老年期の発達課題	事前：講義内容に沿ったテキストの項目を精読する。 事後レポート：自己の高齢者観	瀬畑仁美
2	【講義】老年期における身体機能の変化	事前：講義内容に沿ったテキストの項目を精読する。	瀬畑仁美
3	【演習】老年期における身体機能の変化 ・高齢者疑似体験	事前：加齢に伴う身体機能の変化について復習する。 事後レポート：高齢者体験をとおしての振り返りレポートを記入し提出する。	瀬畑仁美
4	【講義・演習】老年期における認知機能の変化、心理・社会的変化と健康への影響	事前：講義内容に沿ったテキストの項目を精読したうえで演習に臨む。	瀬畑仁美
5	【講義】超高齢社会と社会保障	事前：講義内容に沿ったテキストの項目を精読し不明な点、疑問点を明らかにしておく。	瀬畑仁美
6	【講義】多様な場で生活する高齢者を支える看護、治療・介護を必要とする高齢者を含む家族の看護	事前：講義内容に沿ったテキストの項目を精読する。	瀬畑仁美
7	【講義】高齢者に特有な症候の看護 ・熱中症、低体温症、発熱、脱水、痛み、浮腫、せん妄	事前：講義内容に沿ったテキストの項目を精読する。	瀬畑仁美
8	【講義】治療を必要とする高齢者の看護 ・薬物治療、手術療法、リハビリテーションを受ける高齢者の看護	事前：講義内容に沿ったテキストの項目を精読する。	瀬畑仁美
9	【講義・演習】高齢者の権利擁護 ・高齢者差別、権利擁護 ・高齢者虐待	事前：講義内容に沿ったテキストの項目を精読したうえで演習に臨む。 事後レポート：高齢者虐待	瀬畑仁美
10	【講義・演習】高齢者の権利擁護 ・安全確保と身体拘束	事前：講義内容に沿ったテキストの項目を精読したうえで演習に臨む。 事後レポート：安全確保と身体拘束	瀬畑仁美
11	【講義・演習】高齢者とヘルスプロモーション	事前：講義内容に沿ったテキストの項目を精読する。	諏訪陽子
12	【講義】高齢者に特有な症候・疾患 ・老年症候群 ・高齢者に特有な疾患 呼吸器系の疾患（高齢者肺炎） 運動器の疾患（大腿骨頸部骨折・変形性関節症・骨粗鬆症） 感染症（MRSA・インフルエンザ・ノロウイルス感染症・新型コロナウイルス感染症）	事前：老年看護病態・疾患論P48～52、P176～186、P230～237、P265～269を精読し不明な点、疑問点を明らかにしておく。	千嶋巖
13	【講義・演習】高齢者医療の課題と重要性、高齢者の在宅医療とエンドオブライフケア	事前：老年看護病態・疾患論P2～13、312～317、を精読し、不明な点、疑問点を明らかにしておく。 事後レポート：高齢者の在宅医療とエンドオブライフケア	北岡吉民

14	<p>【講義】老年看護の基本と役割、老年看護に用いられる概念・モデル・理論 高齢者のいる家族の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族構成とニーズの変化 ・家族の機能の変化 ・疾患や障害をもつ高齢者の家族への支援 	<p>事前：講義内容に沿ったテキストの項目を精読する。 事後レポート：老年看護の役割</p>	瀬畑仁美
15	【試験】		瀬畑仁美

テキスト	系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院 系統看護学講座 専門分野 老年看護病態・疾患論 医学書院		
参考書			
成績評価の方法	筆記試験：配点70点、課題レポート：配点30点 瀬畑：70点（レポート20点・筆記50点）、諏訪：レポート10点、北岡：レポート5点、千嶋：筆記15点 レポート課題については指定された期日に提出されない場合、0点となります。		
その他、受講生への要望など	高齢者や高齢者を取り巻く環境に興味・関心をもち、幅広い視野をもって老年看護の役割を考えられるようになることを期待します。		

授業科目	老年看護学実習Ⅰ		
担当者名	瀬畑仁美	実務経験	○
年次	1年次	学期	後期（12月）
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	介護老人保健施設を利用している高齢者の心身の特徴を理解し、他職種と連携して高齢者の持てる力を活かした看護を実践するための基礎的能力を養う。		
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護老人保健施設を利用する高齢者の特徴を説明する。 2. 高齢者の特徴をふまえたコミュニケーションをとる。 3. 対象の生きてきた時代背景・生活史に関連する価値観の多様性について説明する。 4. 高齢者の生活を支える職種の役割と、チームにおける看護師の役割を説明する。 5. 高齢者に関心を寄せ、尊重した態度をとる。 6. 自己の老年期のイメージを明確にし、説明する。 		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【学内】オリエンテーション		瀬畑仁美
2	【臨地】介護老人保健施設		瀬畑仁美
3	【臨地】介護老人保健施設		瀬畑仁美
4	【臨地】介護老人保健施設		瀬畑仁美
5	【学内】まとめ・発表会		瀬畑仁美

テキスト	
参考書	
成績評価の方法	実習評価表に準じる
その他、受講生への要望など	既習の知識・技術をもとに高齢者と積極的にコミュニケーションをはかり、高齢者の生活史を聞いてみましょう。

授業科目	小児看護概論		
担当者名	小堀 明美	実務経験	○
年次	1年次	学期	後期
単位	1単位	時間数	15時間
授業科目の概要	子どもは一人の権利を有する人として尊重されるべき存在である。本科目では、小児看護の対象である子どもとその家族を統合的に理解し、子どもを取り巻く環境が子どもの成長発達、または人生に及ぼす影響について学修する。更に、子どもと関わる自己の在り様が子どもの成長発達に影響することに気付き、その役割について考える機会としたい。		
授業科目の到達目標	1.子どもの人権と、それを守る権利の必要性和倫理について説明する。 2.子どもを取り巻く環境と、環境が子どもに及ぼす影響について説明する。 3.子どもの健やかな発達を支える法・施策について説明する。 4.小児看護の役割と特徴について説明する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】子どもとは・小児看護の役割 1. 子どもの特徴 2. 発達段階と発達課題 3. 小児看護の役割		小堀 明美
2	【講義】子どもの権利・小児看護における倫理 1. 小児看護の歴史と子ども観の変遷 2. 子どもの権利擁護 3. 小児看護における倫理		小堀 明美
3	【講義・演習】子どもを取り巻く環境 1. ブロンフェンブレンナーの生態学的モデル 2. 子どもの健康問題と環境 3. 子どもを取り巻く環境としての自己	課題レポート：子どもと環境	小堀 明美
4	【講義】子どもの統計と法・施策 1. 人口動態と児童福祉法 2. 母子保健と健やか親子21 3. 難病と医療費の支援		小堀 明美
5	【講義】子どもと家族 1. 子どもにとっての家族とは 2. 家族アセスメント		小堀 明美
6	【講義】障害のある子どもと家族の看護 1. 障害のある子どもと家族の想い 2. 社会支援	課題レポート：子どもと家族	小堀 明美 特定非営利活動法人 DAIJI 長谷川 仁美
7	【講義・演習】子どもの虐待と看護 1. 現状 2. リスク因子 発生予防と早期発見 3. 多職種連携と必要な支援	課題レポート：子どもの虐待	小堀 明美
8	【試験】		小堀 明美

テキスト	系統看護学講座 専門分野 小児看護学概論 小児臨床看護総論 小児看護学1 医学書院
参考書	
成績評価の方法	筆記試験配点：70点 ・課題レポート配点30点
その他、受講生への要望など	"子どもにとっての最善の利益を守る看護とは何か" "家族にとっての最善の利益を守る看護とは何か" 共に学びましょう

授業科目	母性看護概論		
担当者名	阿部 未映子	実務経験	○
年次	1年次	学期	後期
単位	1単位	時間数	15時間
授業科目の概要	母性看護学は、生命が健全に育まれるように、女性と家族の生涯にわたる健康の維持・増進を目的としている。本科目は、女性の権利や健康を守るための概念や法律と母子を取り巻く現状について学び、母性看護学の対象と役割について理解する。		
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 母性看護の目的と役割を説明する。 2. 母子保健に関する制度について説明する。 3. 母子を取り巻く環境と課題について説明する。 4. 次世代の健全育成をめざす支援と多職種連携について考える。 5. 母性看護における倫理的課題と看護師の役割について考える。 		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】母性看護とは 1. 母性看護の変遷 2. 母性看護の目的・役割	事前：母性に関するイメージ 事後レポート「母性看護の目的と役割」	阿部 未映子
2	【講義】母性とは 1. 愛着・母子関係と家族発達	事前：ボウルビー・ルービン・マーサ・クラウスとケネル・バーナードモデル	阿部 未映子
3	【講義】性と生殖 1. セクシュアリティ・性的マイノリティと支援 2. リプロダクティブヘルス／ライツ	事前：リプロダクティブヘルス／ライツ 事後レポート：多様性について	阿部 未映子
4	【講義】母性看護と統計 1. 母子保健と統計 出生 死亡 婚姻	事前：母子保健に係る統計 事後レポート：統計から考えられる課題	阿部 未映子
5	【講義】母性看護と法律 1. 母子保健に関する法律	事前：母子保健に関する法律 事後レポート：こども家庭庁に関して	阿部 未映子
6	【講義・協同学習】次世代の健全育成をめざす支援 1. 子育て世代包括支援センター 切れ目のない支援 (1) 子育て環境の実際 (2) 対象と支援内容 2. 子ども家庭センター 3. 子どもの虐待	事前：子育てについてのインタビュー・子育て世代包括支援センターについて 事後レポート：子育て支援の在り方	阿部 未映子
7			
8	【講義・演習】母性看護の倫理 1. 生殖医療と倫理的課題 1) 生殖補助医療 2) 出生前診断	事前：生殖医療・出生前診断について 事後レポート：生殖医療と倫理について	阿部 未映子

テキスト	系統看護学講座 専門分野 母性看護学概論 母性看護学1 医学書院
参考書	
成績評価の方法	ポストテスト：配点50点・課題レポート：配点50点
その他、受講生への要望など	事前の課題を把握し、自分の調べてきた内容、考えを基に授業に臨むようにして下さい。母性看護の目的と役割について、共に学習していきましょう。

授業科目	精神看護概論		
担当者名	猪爪 房代	実務経験	○
年次	1年次	学期	後期
単位	1単位	時間数	15時間
授業科目の概要	精神看護学領域の対象は、乳幼児期から老年期まで全てのライフサイクルの人々である。そのため本科目では、健康な人々を含めた全ての人々の精神の健康を保障するための精神保健の意義を学ぶ。また、わが国における精神医療の歴史、精神看護に関わる法律の変遷と倫理などについて理解し、現在社会における精神保健上の諸問題について自己の考えを持つことを目指している。		
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神看護の目的および機能を理解できる。 2. 精神看護の歴史の変遷から、現代における精神科医療の課題を説明する。 3. 精神保健医療に関わる法・制度を説明する。 4. 精神科医療においておこりやすい人権と倫理的問題について説明できる。 5. 脳の仕組みと精神機能、その障害について説明する。 6. 精神看護の基盤となる理論を理解する 7. 現代社会におけるメンタルヘルスの課題と対策を理解する。 		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】精神看護学とは 1. 精神看護について	事後レポート	猪爪 房代
2	【講義】精神保健医療福祉の変遷・現在社会における精神保健上の諸問題 1. 過去と現在、未来について 1) 精神障害の治療と歴史 2) 日本における精神医療の流れ 3) 精神障害と文化・社会学 4) 精神医療福祉対策とその動向	事前課題 (精神医療の流れ)	猪爪 房代
3	【講義】人間の心のはたらし/心の危機とストレス 1. エゴグラム (自分の強みや弱みについて考える) 2. ライフサイクルにおける脳の発達	事前学習 (エゴグラムと結果)	猪爪 房代
4	【講義・演習】精神看護の理論について 1. 自己の弱みと理論家のつながり 2. リカバリーとストレングス 3. こころの健康を維持するための方法を提案する	事前学習 (精神看護の理論家)	猪爪 房代
5	【講義】精神障害と法制度 1. 法制度 1) 法律の意味と役割 2) 精神領域に必要な法律と制度	事前課題 (法制度)	猪爪 房代
6	【講義】精神科医療においておこりやすい人権と倫理的問題 1. 倫理的問題と人権問題	事前学習 (人権問題と倫理的問題)	猪爪 房代
7	【講義・演習】メンタルヘルス 1. 心の健康を維持するための方法を発表 1G×7分	講義内容に沿ったテキストの項目を精読する。	猪爪 房代
8	【試験】		猪爪 房代

テキスト	系統看護学講座 専門分野 精神看護学 [1] 精神看護の基礎 医学書院
参考書	
成績評価の方法	筆記試験：70点 パフォーマンス評価：15点 レポート評価：15点
その他、受講生への要望など	事前学習は期日までに提出してください。 自己のセルフケアや倫理的問題、人権問題について考える機会になりますので、積極的に講義やグループワークに参加することを期待します。